

第七十三回帝國議會
衆議院

社會事業法案外二件委員會會議錄(速記)第七回

付託議案
社會事業法案(政府提出)
商店法案(政府提出)
簡易生命保險法中改正法律案(政府提出)
職業紹介法改正法律案(政府提出)

會議

昭和十三年三月九日(水曜日)午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 服部 岩吉君

理事片岡 恒一君 理事長野 高一君

理事野口 喜一君 理事小池 四郎君

濱野徹太郎君 最上 政三君

齋藤 直橋君 森下 國雄君

北 吟吉君 塚本 三君

瀧澤 七郎君 庄司 一郎君

松浦 伊平君 佐保 畢雄君

坂本宗太郎君 鈴木 文治君

川村保太郎君 椎尾 辨匡君

三浦 虎雄君

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣兼 侯爵木戸 幸一君

出席政府委員左ノ如シ

厚生政務次官 工藤 鐵男君

厚生次官 廣瀬 久忠君

厚生參與官 山本 芳治君

厚生省社會局長 山崎 巖君

厚生省勞働局長 成田 一郎君

厚生書記官 灘尾 弘吉君

保險院長官 進藤 誠一君

保險院總務局長 佐藤 基君

保險院簡易保險局長 藤川 靖君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

社會事業法案(政府提出)

商店法案(政府提出)

簡易生命保險法中改正法律案(政府提出)

職業紹介法改正法律案(政府提出)

○服部委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス、昨日質問ヲ大體打切りマシタ社會事業法案外二案ニ對シマシテ、理事ノ方ヨリ大臣ノ出席ヲ求メテ、更ニ重要ナル點ニ付キマシテ質問ヲ致シタイト云フ申出ガアリマシタノデ、職業紹介法ノ審議ニ入ルニ先ダチマシテ、此質問ヲ許スコトニ致シマス——片岡君

○片岡委員 社會事業法、商店法、簡易生命保險法ニ付キマシテハ、本委員會ニ於キマシテ質疑應答ガ繰返サレテ居リマスルノデ、大體政府ノ意ノアル所ハ判明致シテ居ルノデアリマスガ、尙ホ念ノ爲ニ此機會ニ於テ御尋ヲ申上ゲマシテ、責任ノアル言明ヲ得テ置キタイト思ヒマスカラ、特ニ大臣カラ御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス、現在ノ我國ノ社會事業ト云フモノハ、其起源竝ニ發達ノ沿革カラ眺メテ見マシテ、又今日ノ社會各方面ノ事情カラ考察ヲ致シマシテ、尙ホ一層之ヲ保護助長シテ、其健全ナル發達ヲ促ス必要ガアルト、斯様ニ思フノデアリマス、隨ヒマシテ本法制定ノ目的ハ、何處迄モ之ヲ保護シ助長スルト云フコトニア

ルノデアリマシテ、第十四條、第十五條ノ罰則ノ如キモノハ、是ハ洵ニ萬已ムヲ得ザル場合ニ於テノミ發動スベキモノデアルト、斯様ニ信ジテ居ルノデアリマス、即チ本案ニ於キマシテ、所謂優良ナル事業ニ對シマシテハ、極力之ヲ保護致シマシテ、此反面惡質ナルモノニ限リマシテハ、之ヲ處罰スル、斯ウ云フ點ニアルト信ジテ居ルノデアリマスガ、左様考ヘマシテ差支ガナイノデアリマセウカ、此點ヲ先ヅ御尋致シマス、第二ハ、本法ノ第九條ニ依リマス「地方社會事業委員會ヲ設置スルコトヲ得」ト、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、併ナガラ斯ウシタ事業ノ性質カラ考ヘテ見マシテ、

努メテ自治的ニ行ハシムルベキデアルト、

斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、原則ト致シマシテハ、此委員會ヲ設置スベキモノデア

ル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、當局ハ如何ニ御考ニナツテ居ラレマスルカ、御所

見ヲ承リタイト思ヒマス、尙ホ是ト同時ニ

此委員會ノ構成ニ於キマシテハ、中央竝ニ

地方ヲ通ジマシテ、實際家ヲ多數ニ參加セ

シムルコト、サウシテ獨善ノ弊ニ陷リナイ

ヤウニスベキモノデアルト、斯様ニ考ヘテ

居リマス、其點ニ對シテ御所見モ重ネテ

御伺ヲ致シマス、ソレカラ次ニ御伺致シタ

イコトハ、本法ノ第十一條ニ依リマスル補

助金額ハ、本年度ハ五十萬圓ノ計上ヲ見テ

居リマス、併ナガラ此金額デハ到底保護助

長ノ目的ヲ達シ得ナイト思フノデアリマス、

當局ハ將來是ガ補助金ヲ増額シテ、積極的ニ

全國私設社會事業ヲ助成スベキモノデア

ト、斯ウ云フ風ニ思ヒマスガ、其所見ヲ御

伺致シマス

○木戸國務大臣 只今御尋ノ點ニ付テ御答

ヲ申上ゲマス、第一點ノ御尋ノ御趣旨ハ、

全然同感デアリマシテ、本法設置ノ趣旨ハ、

只今御話ノ通りデアリマス、唯御話ノ通り、此法律ニ罰則規定ヲ設ケマシタノハ、公益上放置シ得ナイヤウナコトガアリマシタ場合、萬已ムヲ得ズシテ適用スルコト致シタルデアリマシテ、此程度ノ罰則ヲ以テ臨ムコトハ、眞ニ已ムヲ得ナイモノト考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ本法制定ノ理由ハ、全ク社會事業ノ健全ナル發達ヲ目的ト致シテ居リマスノデ、優良ナル團體ノ飽マデモ保護助成致シマスル方針デ、所謂嚴重ナ取締ノ態度ヲ以テ之ニ臨ム考ハ、毫モ持ッテ居ラナイノデアリマス、ソレカラ第二ノ點ハ、

ケレドモ、十分ニ努力致シテ、是ハ増額ヲ圖リタイト考ヘテ居リマス

○片岡委員 尙ホ商店法ニ付キマシテ御尋

ヲ申上ゲタイノデアリマスガ、本案ノ實施

ニ當リマシテ、政府ハ一般使用人ガ與ヘラ

レマスル所ノ餘暇ヲ、彼等ガ努メテ精神ノ

修養ト、ソレカラ體位ノ向上ナドニ善用シ

得ル機會ト、施設ヲ考ヘナケレバナラヌト

思フノデアリマスガ、之ニ對シテドウ云フ

風ナ用意ヲ御持チニナッテ居ラレマスルカ

ト云フノガ一ツデアリマス、尙ホ次ニ第三

條ニ示シマスル盛り場ノ點デアリマスガ、

是ハ成ベク其制限ヲ嚴重ニサレマシテ、其

地域、場所ナドヲ少クセラレテ、努メテ本

法適用ノ範圍ヲ廣カラシムルベキデアルト、

斯様ニ信ジテ居リマスガ、此點ニ對スル御

所見ヲ御伺致シタイト思ヒマス、更ニ第三

ノ點ト致シマシテハ、第十一條ノ規定ニ依

リマスル本法取締ノ監督官廳デアリマス、

是ハ各府縣ニ於ケル工場課ノ所管トセラレ

ルト云フコトハ、過日來ノ言明デ明ニナッテ

居リマスガ、本法取締ノ爲ニ、各商店ニ對

シマシテ直接臨檢ヲスル所ノ官吏ト云フモ

ノハ、警察官ヲシテ之ニ當ラシムルト云フ

コトハ、色々ナ弊害ヲ生ズル場合ガ多々ア

ルト信ジマスカラ、之ニ對シマシテハ、警

察官ヲシテ干與セシメナイト云フコトガ適

當デアル、斯様ニ考ヘマスガ、是等ニ付テ

如何ナル御考ヲ持ッテ居ラレマスガ、御尋致

シマス

○木戸國務大臣 御答致シマス、第一點ノ

店員ノ餘暇ヲ善用スルコトニ關スル御尋デ

アリマシタガ、店員ノ餘暇ヲ修養、體位ノ

向上、訓育等ノ方面ニ善用セシメマスルコ

トハ、極メテ望マシイコトデアリマスカラ、

地方廳等ヲ督勵致シマシテ、關係團體等ヲ

指導シテ、出來ルダケ此方面ニモ力ヲ致シ

タイト考ヘテ居リマス、第二點ノ盛り場ハ

成ベク局限シテ、此例外ヲ餘リ廣汎ニ使ハ

ナイヤウニト云フ御話デアリマシタガ、是

ハ洵ニ同感デアリマシテ、是等ノ決定ニ付

テハ、十分留意致シマシテ處置致シタイト

考ヘテ居リマス、第三ノ御質問デアリマス

ガ、此御趣旨モ全ク御同感デアリマス、成ベ

ク本法ノ施行ニ付キマシテハ、關係團體等

ヲ督勵致シマシテ、自治的ニ法ノ履行ヲ期

セシメルヤウ、指導シテ行キタイト考ヘテ

居リマス、併ナガラ必要ニ依リマシテ警察

官ヲ使用スル場合モアリマスガ、其場合ハ

營業ニ支障ヲ及ボサナイヤウニ、留意シテ

行キタイト思ッテ居リマス

○片岡委員 最後ニ簡易生命保險ノ件ニ付

テ御尋ヲ申上ゲマス、今回ノ改正法ニ依リ

マスル七百圓ト云フ金額デハ、ドウモ今日

ノ社會ノ實情ト國民ノ要求トヲ以テ致シマ

スルト、尙ホ少額ニ失スルモノト私ハ考

ヘマス、隨ヒマシテ政府ハ成ベク近イ將

來ニ於テ、其最高額ヲ一千圓ニ引上グル

ベキモノト、私ハ斯様ニ思フノデアリマ

ス、併ナガラ是ガ爲ニ民間ノ生命保險事

業ガ、其經營ニ支障ヲ來ス如キコトモ、

固ヨリ是ハ避ケナケレバナラヌト思フ

ノデアリマスガ、斯ノ如キ點ニ付キマ

シテハ、十分考慮セラレマシテ、萬全ノ

方策ヲ樹立セラルベキモノデアルト考ヘマ

ス、此點ニ對スル御所見ヲ承リタイト思フ

ノデアリマス、尙ホ更ニ此簡易生命保險金

ノ運用ノ點デアリマス、此點ニ付キマシテ

ハ、將來尙ホ一層社會事業方面ナドヘ努メ

テ貸出シラ圓滑ニ、而モ敏速ニ爲サルベキ

モノデアルト、斯様ニ思ヒマス、之ニ對ス

ル御考モ重ネテ御伺ヲ致シテ置キマス、ソ

レカラ最後ニ、政府ハ民營ノ保險會社ノ經

營ニ對シマスル監督ヲ一層強化セラレマシ

テ、保險金支拂ニ支障ノナイヤウニシテ戴

キタイト思ヒマス、此點ニ對シテノ御考

モ、是亦重ネテ御尋申上ゲテ置ク次第デア

リマス

○木戸國務大臣 第一ノ御尋ハ、今日改正

致シマスル簡易保險ノ最高制限額ガ、七百圓デアアルハ過少デアアルカラ、千圓ニ増額スルノ意思アリヤナシヤト云フ御尋デアリマシタ、現下ノ社會經濟情勢ニ照シマシテ、國民生活ノ安定ヲ圖ル上カラ見マスレバ、必シモ七百圓ニテハ十分ト考ヘラレナイノデアリマスルガ、今直チニ大幅ノ引上ヲ致シマスルコトハ、民營事業ノ關係ノミナラズ、一般社會ニモ影響ヲ及ボス懸念ガアリマスルノデ、是等ノ點ヲ考慮致シマシテ、七百圓ガ妥當デアルト考ヘタ次第デアリマス、ソレカラ積立金ノ貸付ニ付キマシテハ、主トシテ社會事業ニ運用スルヤウニシテハドウカト云フ御話デアリマスルガ、簡易保險ノ積立金ヲ社會政策的事業ニ貸付ケマスコトハ、簡易保險事業創設以來ノ方針デアリマシテ、是ハ今日ニ於テモ何等變ハル所ガナイノデアリマス、今後ニ於キマシテモ——共同宿泊所デアルトカ、簡易食堂、實費診療所、產院、結核療養所、職業紹介所、公設質屋、其他少額生業資金、自作農創設維持資金等ニ貸付ヲ行ッテ居ルノデアリマシテ、此精神ハ將來ニ於テモ續ケテ行ク考デアリマス、ソレカラ民營保險事業ニ關スル御尋デアリマシタガ、之ニ付キマシ

テモ、大體民營事業ハ商工省ノ所管ニナッテ居リマスルガ、十分ニ連絡ヲ取りマシテ、御話ノヤウナ點ニ付テハ、支障ノナイヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○最上委員 今ノ片岡君ノ質疑ニ關聯シテ、民營事業ノ監督ニ付テ一寸御聞キシタイ

○服部委員長 ソレハ又別ニ機會ヲ與ヘルコトガアルカモ知レマセヌケレドモ、大體本日特ニ質問ヲ許シマシタノハ、理事ノ申合セニ依リマシテ申出デアリマシタカラ、之ヲ御許シ申上ゲタノデアリマスカラ、本日ハ先ヅ此質問ダケデ三案ノ質問ヲ止メマシテ、隨テ職業紹介法ノ質問ニ入ルコトニナッテ居リマス、左様ニ御承知ヲ願ッテ置キマシ

○最上委員 今ノ大臣ノ御答辯ニ私納得シ

ナイノデス、ソレニ關シテ一點ダケ伺ヒタイノデス、ソレヲ許サナイノデスカ、關聯シテ民營保險事業ノ監督ト云フコトニ付テ……

○服部委員長 ソレハ關聯ト云フ場合ニハ、實ハ……

○最上委員 大臣ノ御話デハ、是ハ厚生省

ノモノデハナイ、商工省ノモノデアルト云フコトデスガ、國務大臣トシテ御話ニナルナラ兎ニ角、ソレニ關聯シテ一點ダケ伺ヒタイノデス

○服部委員長 今日ハ其點ダケハ質問ヲ一寸差控ヘテ戴キタイト思ヒマス——ソレデハ職業紹介法ノ審議ニ移リマス

○山本政府委員 職業紹介法改正法律案ノ内容ニ付キマシテ御説明ヲ申上ゲマス、此改正法律案ノ骨子ハ、第一ニ、公益職業紹介事業ノ目標ヲ何處ニ置クカト云フ點デアリマス、第二ニハ、職業紹介事業ノ運營ハ、原則トシテ政府之ヲ管掌スルト云フ點デアリマス、第三ニハ、職業紹介事業ノ運營機關ノ組織構成ノ點デアリマス、第四ニ、職業紹介事業ノ費用負擔ノ點デアリマス、第五ニ、國家以外ノモノノ行フ職業紹介事業ヲ禁止制限、及ビ之ニ類似スル事業等ノ規制ノ點、此五點デアリマス

先ヅ職業紹介事業ノ目標ヲ何處ニ置クカノ點ニ付キマシテハ、從來動モスレバ職業紹介事業ガ、唯單ニ失業者ノ爲ノ救濟的事業デアアルカノ如クニ、誤認セラレ勝チデアツカノデアリマス、ガ職業紹介事業ノ現狀ハ、單ニ斯ノ如キ救濟の事業デハナイノミナラズ、此事業ニ對スル國家的、社會的要求ハ、國民全般ヲ對象ト致シマシテ、其機能ハ勞務ノ適正ナル配置ヲ圖リマシテ、以テ勞務ヲ調整スルコトニシナケレバナラヌト云フコトニナッテ參ッタノデアリ

マス、隨ヒマシテ本法案ニ於キマシテハ、此目標ヲ明ニ致スノデアリマスルガ、勞務ノ適正ナル配置ヲ圖ルト云フ意味ハ、國家ノ遂行セントスル諸政策ニ順應シツ、而モ一方ニ於テハ勞務者ノ個人的、家庭的事

情ニ考ヘマシテ、他方ニ於キマシテハ需要者側ノ事情ヲ參酌致シマシテ、成ベク是等ヲ合理的ニ一致セシムルヤウニ、勞務者ノ就職ヲ斡旋指導セントスル心持デアリマス

第二ニハ、職業紹介事業ノ政府管掌ノ點デアリマシテ、此改正法律案ノ中核ヲ成スモノデアリマス、御承知ノ如ク現行職業紹介法ニ於キマシテハ、公益職業紹介事業ヲ運營スル職業紹介所ハ、市町村營ヲ原則トシテ居ルノデアリマシテ、特別ノ必要アル場合ニハ道府縣モ之ヲ設置スルコトガ出來ル、其他ノモノモ許可ヲ受ケテ、之ヲ運營スルコトガ出來ルト云フ例外ヲ認メテ居ルノデアリマス、然ルニ此市町村營主義ニ於キマシテハ、職業紹介所ノ適正ナル分布ヲ實現シテ、全國的紹介網ヲ完備スルコト、竝ニ内容ノ充實シタル職業紹介所ヲ設クルコト等ガ、著シク困難デアリマシテ、市町村ノ區域ヲ超越シテノ活動ヲ期待シ得ラレナイノミナラズ、特ニ國家的見地ニ立ッテ職業紹介事業ヲ統制運用スルコトガ頗ル困

難デアル等、色々ノ缺陷ガアルノデアリマシテ、假令國家ニ於テ出來得ル限りノ指導監督ヲ加ヘルト致シマシテモ、地方自治團體ノ本質カラ來ル所ノ其機能ハ、自ラ限度ガアルノデアリマシテ、到底現下國家社會ノ要求ニ應ジ難イ實情ニ在ルノデアリマシテ、之ヲ現状ノ儘放置スルコトヲ得ナイト存ズルノデアリマス、又市町村營ニ關聯致シマシテ、道府縣營ト云フコトモ考ヘ得ラル、ノデアリマスガ、道府縣營ヲ採ル場合ニ於キマシテモ、本事業ノ國家的色彩ノ程度ヨリ見テ、地方自治團體ノ運營ニ委スコトガ不適當デアルト考ヘラレマスノデ、結局國家ニ於テ之ヲ管掌スルコト致シマシタ、其運營ニ付テ、又費用ノ負擔ノ點ニ付テ、地方的事情ヲ加味シテ行ク方法ガ、最も適切ナリト考ヘタ次第デアリマス

第三ニハ、政府ノ管掌スル職業紹介事業ノ内容及ビ是ガ運營ノ機構ノ點デアリマスガ、政府ノ管掌スル職業紹介事業ニ於キマシテハ、職業紹介ヲ其樞軸トスルモノデアリマスガ、勞務ノ適切ナル配置ヲ圖ル爲ニ、之ニ併セテ職業指導ヲモ行ヒマス、尙ホ必要ニ應ジテ職業輔導、其他職業紹介ニ關聯スル事項ヲモ行フコト致シタノデアリマス、又是ガ運營機關ト致シマシテハ、第一

線機關トシテ職業紹介所ヲ全國樞要ノ地ニ配置致シマシテ、之ニ依ッテ分布ノ適正ヲ圖ルト同時ニ、相當數ノ職員ヲ之ニ配屬セシメマシテ、其内容ノ整備充實ヲ期シタイト存ズルノデアリマス、又此職業紹介所ノ業務ノ一部ヲ市町村長等ヲシテ行ハシメマシテ、更ニ市區町村毎ニ聯絡委員ヲ設置スル等、職業紹介所ノ機能ヲ十分發揮シ得ルヤウニ工夫シタノデアリマス、職業紹介所ノ連絡統制ノ機關ニ付キマシテハ、我國ノ地方行政ノ實際ニ徴シ、現行制度ニ於ケルト同様、地方長官統轄主義ヲ採リマシテ、中央地方ノ機構ヲ強化シテ之ニ當ラシメマシタ、又職業紹介事業ノ運營ニ付キマシテハ、中央及ビ地方ニ職業紹介委員會ヲ設ケマシテ、民間等ノ要望ヲ十分參酌シテ、實際ニ即シタ運營ヲ爲スヤウ配慮致シタ次第デアリマス

第四ハ、職業紹介事業ノ費用負擔ノ點デアリマスガ、職業紹介事業ヲ國營ト致シマシテモ、其實際的ノ效果ハ地方的ノモノモ尠クナイノデアリマスルシ、又現在ノ制度ニ於キマシテハ、其費用ノ大部分ハ地方公共團體ヲシテ負擔セシメテ居ルト云フ事情ヲモ、併セテ考慮致シマシテ、職業紹介所ニ要スル經費ニ付キマシテハ、其一部ヲ地方

公共團體ヲシテ分擔セシムルト云フコトニ致シタノデアリマス

第五ハ、國家以外ノ者ノ經營スル職業紹介事業ノ制限デアリマスガ、國家ニ於キマシテ職業紹介事業ヲ管掌シ、勞務ノ適切ナル配置ヲ圖ラントスル以上ハ、國家以外ノモノノ行フ職業紹介事業ハ、原則トシテ之ヲ認メヌコトニシナケレバ、本事業ノ圓滑ナル運用ヲ期シ得ナイコトハ申ス迄モナイノデアリマスガ、現在ノ實情ヨリ致シマシテ、今直チニ全部ノモノヲ禁止スルコトハ適當デナイト考ヘマシテ、主務大臣ノ指定スル特殊ノ職業紹介事業ニ付テハ、原則的ニ民間事業トシテ行フコトヲ認メマシテ、又現ニ許可ヲ受ケテ行ヒツ、アル職業紹介事業ニ付テハ、經過的ニ從來通り之ヲ行フコトヲ許シタノデアリマス

次ニ職業紹介事業ニ類似スル勞務供給事業、及ビ勞務者ノ募集ノ規制ノ點デアリマスガ、是等ノ事項ハ其作用又ハ機能ガ、職業紹介事業ノソレト殆ド差異ガアリマセヌノデ、是等ノ主ナルモノニ付キマシテハ、許可主義ヲ採リマシテ、一ハ以テ國家ノ行フ職業紹介事業ノ活動ニ障礙ヲ與ヘナイヤウニ致シ、一ハ以テ是等ノ事業ニ伴ヒ易イ弊害ヲ防止セントシタノデアリマスガ、是

ガ運營ニ付キマシテハ、産業、勞働兩方面ノ實情ヲ十分參酌致シマシテ、勞務ノ適切ナル配置ト、勞務需給ノ圓滑ヲ缺クコトノナイヤウニ、留意致シタイト存ズルノデアリマス、尙ホ本法ノ目的達成ヲ確保スル爲ニ、是等有料又ハ營利ノ事業等ノ違反ニ付テ、罰則ヲ設クルコトト致シタノデアリマス

以上申上ゲマシタ點ハ、本改正法律案ノ概要デアリマスガ、是ガ實施ハ昭和十三年度ヨリ逐次國營職業紹介所ヲ開設致シタイ積リデアリマス、現存ノ市町村營職業紹介所ノ職員等ノ措置ニ付キマシテハ、十分配意致シマシテ、經過的措置ニ遺憾ノナイコトヲ期スル方針デアリマス、尙ホ此改正法律實施ニ要スル經費ニ付キマシテハ、職業紹介所ノ經費トシテ、平年度約六百萬圓ヲ要スル見込デアリマス、昭和十三年度ニ要スル經費ニ付キマシテハ、追加豫算トシテ不日御協賛ヲ願フ積リデアリマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ賜ハランコトヲ希望致シマス

○服部委員長 濱野君

○濱野委員 先ツ資料ノ提供ヲ要求致シマス、ソレハ御提案ニナッテ居リマスル此職業紹介法案ノ第四條三項、第六條二項、第

デスガソレカラ之ニ定メテ居リマスル勅令ノ内容ヲバ、資料トシテ御提出セラレシコトヲ、委員長ニ於テ御取計ヒ願ヒタイト思ヒマス、更ニ現在存シテ居リマス、職業紹介所法ノ中ノ第二條ニ定メテ居リマスル、市町村竝ニ北海道、府縣ニ於ケル既設ノ職業紹介所ノ中ニ於テ、特ニ町村ヲ除イテ、市竝ニ府縣、道廳ニ於ケル職業紹介所ノ所長、若クハソレニ次グベキ主任ト云ッタ人達ノ在勤年數、ソレカラ轉任シタ人ガアルナラバ、サウ云フ人達ハ今マデドウ云ツタ職ニ轉ジテ居ルカ、是ハ大正十年ニ發布ニナッタノデスカラ、ソレ以來ノモノヲ具體的ニ悉ク御示ヲ願ヒタイ、豫メ確メタイ點ヲ申上ゲテ置キマスガ、是等ノ人ハ官吏ト云フ心持デ、右カラ左ニ行ツテ居ラスカト云フコトヲ確メテ置キタイノデアリマス、次ニ資料トシテ、船員職業紹介法ニ決メテ居リマスル第一條一項ノ命令ノ内容、同條第二項ノ勅令ノ内容、ソレカラ附則ノ第三項ノ命令ノ内容、之ヲ資料トシテ御提供ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ヨリ質問ヲ致シタイト存ジマスルガ、只今當局ノ御説明ニ依リマシテ、本法案ノ提案ノ理由ハ略、諒承致シマシタ、只今ノ御説明ヲバ要約シマスルト、是モヤ

ハリ時局ニ促進サレテ出來タ立法デアラウト存ジマス、即チ時局ニ應ジテ生産力擴充ニ必要ナル、大量ノ求人ト云フコトノ現象ガ起ッテ來マシタ、求人ノ方面ニ於テハ、是ハ從來ハ想像ノ付カナカッタヤウナ大量ノ人ヲ必要トスルヤウニナッタ、例ヘバ軍需工場ノ如キサウデアリマス、一面又所謂求職者ノ側カラ云ヒマスルト、勇躍征途ニ就カレテ、凱旋サレタ將士ノ方達ノ中ニ、或ハ元ノ仕事トカ、或ハ職ヲ求メルト云ッタヤウナ、是モ同ジク大量ノ業ヲ求ムル方達ガアル、或ハ元ノ職ニ復ストカ、復員ト云フヤウナコトガ、此時局ニ現レタル重要ナル現象デアリマス、本法案ノ提出サレタ理由ハ多々アリマセウガ、今申シマシタ二ツノコトガ、根本原因ヲ成シテ居ルノデハナイカト考ヘマスガ、此點ハドウデアリマセウカ

○**工藤政府委員** 濱野委員カラ指摘セラレマシタヤウニ、主ナル趣旨ヲソコニ置イテ、發案シタヤウナ次第デアリマス

○**濱野委員** 既ニ政府委員ノ御答ニナリマシタ通り、重ネテ此點ヲ明ニシテ置キマスルガ、本法案提案ノ理由ハ、時局ニ促サレテ求人側竝ニ——一言ニ言フナラバ、求職者側ニ於ケル大量ノ扱ト云フヤウナコトガ、根本原因ヲ成シテ居ル、サウスルナラバ、

サウ云フ格段ナル原因ヲ除キタル、言換ヘマスレバ、此事變ノ重壓ト云フヤウナコトヲ除イタ、今マデノ平和ニ居リマシタ時ニ於ケル、既設ノ職業紹介所ト云フモノノ必要ヲ認メ得ラレルノデハナイカト考ヘラレルノデアリマスルガ、此重壓ニアル時ニ時局ニ促進サレテ、サウ云フ根本的ノコトニ應ズル爲ノ職業紹介法改正デアリトハ申シナガラ、其原因ヲ除イタル、今マデニ在ツタ所ノ既設ノ職業紹介事業ヲ、此一片ノ法文ニ依ツテ根本的ニ無クシテシマハウト云フヤウナ心持ガ、此法文ニ於テ窺ハレマス、勿論當局ハ御説明ト致シマシテ、附則ヲ御述ニナルカ分リマセヌ、附則ニハ明ニ今マデノ人達ノ既得ノ權利ヲ尊重スルヤウナ言葉ヲ載セテ居リマスルケレドモ、併シ法律ヲ見ル目カラ言ヒマス、此職業紹介法ハ、明ニ一條ト二條ニ基礎ヲ置カナケレバナラス、第一條ハ何デアルカト云フト、職業紹介事業ノ積極的方面ヲ示シタノデアツテ、政府ガ自ラ職業紹介ノ管掌ニ當ルト云フコトデアリマス、第二條ハ、サウ云フ方面ノ消極的ノ方面ヲ規定シタノデアツテ、國家ガ進ンデ之ヲ運営スル以上ハ、他ノ何人モ國家以外ニ之ヲ爲スコトハ出來ナイ、第二條ハ文字ニ現ハシマシテ「何人ト雖モ職業紹介事業ヲ行

當局ガ説明サレマシテモ、附則ニ載ッテ居ルモノハ附則ナノデス、ヤハリドウ見テモ第一條ハ積極的ノ政府ノ働キ、第二條ハ消極的ノ意味ヲ持タシテ、既存ノモノハスッカリ置カナイノダト云フコトヲ示シテ居ル、既ニ本法案提案ノ理由ガ、時局ノ重壓ト云フ方面カラ來タナラバ、ソレヲ除イテ、今マデ平和ニ存在シテ居ッタノヲ、一舉ニシテナゼ斯ウ云フヤウニ、法文ノ立前カラ國立一本立デ行カウトスルノデアルカ、其根本精神ヲ先ヅ伺ヒタイ

○工藤政府委員　斯様ナル立法ノ立前トシテハ、即チ原則ヲ國營トスルト云フ立前カラ行キマスレバ、隨テ個人ノ營業ニ對シマシテ、或ハ制限ヲ加ヘ、若クハ將來ニ於テ國家ニ於テ全部之ヲ管掌シナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ豫想サレルコトダラウト思フノデアリマス、併シ是モ時代ノ要求デ、斯クマデニ擴大強化シナケレバナラヌ爲ニ起ッタノデアリマスガ、長イ間ノ歴史ヲ持ッテ存在シテ居ル所ノ既設ノ、斯様ナル紹介事業、若クハ類似シタモノニ對シマシテハ、假令國家ノ必要トハ申シナガラ、適當ナル之ニ對シテ指導監督ヲ加ヘテ、此國家ノ目的ニ副フヤウニ、ソレ相當ナ働キヲシ

テ貫ヒタイト云フノガ、此法案ノ目的デア
リマス

○濱野委員 只今工藤政府委員ヨリ、既設
ノ所謂有料ノ紹介事業ニ對スル御同情ノア
ルヤウナ御言葉ガアリマシタケレドモ、併
シソレハ政府ガ腹ノ底デ考ヘテ居ルコトデ
アツテ、法律ノ立前カラ云ヘバ、之ヲ讀上ゲ
マスレバ、「第一條政府ハ勞務ノ適正ナル配
置ヲ圖ル爲本法ニ依リ職業紹介事業ヲ管掌
ス、第二條、何人ト雖モ職業紹介事業ヲ行
フコトヲ得ズ」ト書イテ居リマシテ、此第
二條ト云フモノハ、他ヲ排斥スベキモノデ
アル、附則ノ方ハ、オ前達序ニ助ケテ置イ
テヤルノダト云フヤウナ心持デ、ソレコソ
事變ノ爲ニオ前達ノ存在ヲ許スノダト云フ
ヤウナ心持ガ現レテ居リマシテ、嚴格ナル
法文ノ體裁カラ云ヒマス、此法案ノ提出
ヲ促進スル原因ヲ除イタナラバ、今マデ公
營事業ト相竝ンデ存在ヲ許サレテ居ッタ所
ノ事業ガ、其重壓ノ爲ニ是ガヤラレテシマ
フ、斯ウ云フ立前ハ、當業者ノ營業權ノ自
由ト云フ點カラ考ヘルト嫌ナリノデアリ
マス、營業權ノ自由ト云フコトハ、憲法ニ
ハ明記シテ居リマセヌガ、是ハ伊藤公ノ憲
法義解、其他ノ學者ノ說ニ依リマシテモ、
居住、移轉ノ自由以上ニ當然ノコトデアリ、

事理明カデアルト云フノデ、憲法デ明示シ
テ居ラナイコトハ御承知ノ通りデアリマス、
サウシテ今マデ公營トハ申シナガラ、ソレ
ハ法律ニ依ッテ出來タモノデアリ、政府ニ
代ッテ市町村ガ營ンデ居ルト云フヤウナ心
持ノ公營事業ト、相竝行シテ居リマシタモ
ノガ、如何ニ時局柄トハ言ヒナガラ、此一
片ノ法律ノ爲ニ、附則ノ方デ一寸オ情ケニ
存在サシテヤルノダト云フダケデアル、其
證據ニハ、今マデ十數年來、或ハ又維新以
前カラ老舗ヲ持ッテ居リマシタ所ノ店ガ、此
法案ニ依ルト、營業權ノ讓渡ト云フコトハ
書イテ居ラス、相續ノ場合ダケガ指定サレ
テ居ル、營業ノ移轉ノ自由ハ、公安ニ差支
ナイ、或ハ公ノ秩序ニ差支ナイ場合ニ於テ
ハ、當然ニ營業ノ移轉ト云フモノガ認メラ
レナケレバナラス、即チ商法自ラガ營業ノ
移轉ト云フコトノ自由ヲ標榜シテ居ルニ拘
ラズ、此ノ法律ノ一條、二條デ、明ニ私營紹
介事業ヲ排斥シテ、オ情ケニ置イテヤッテ居ル
ノダト云フ氣持ハ、相續ノ場合スラ政府ガ
管掌スルノデアツテ、況ヤ營業ノ自由トシテ
ノ營業權ノ讓渡ト云フコトヲ認メテ居ラレ
ナイ、斯ウ云フコトニ對スル政府ノ見解ハ
ドウデアルカ、先ヅ其點カラ伺ハナケレバ
ナラス、厚生省ノ仕事自體ト云ヒ、是レ自

體ト云ヒ、ソレハ國家ノ援助背景ニ依ッテ、
俺ハ官吏ダト云フヤウナ心持デハナイ、是
ハ正ニ奉仕ト云フカ、「サービス」ト云フコ
トヲ指導精神トスル厚生省ノ立案ニ係ル此
法案ニ依ッテ、大ノ虫ヲ活カシテ小ノ虫ヲ殺
スト云フヤウナコトデ、之ヲ殺シ去ラウト
云フコトハ、甚ダ遺憾ト思フノデアリマス
ガ、先ヅ此點ニ對スル御答辯ヲ承リタイ
○工藤政府委員 只今ノ濱野委員ノ重ネテ
ノ御質問デアリマスガ、第一條、第二條ハ、
コ、デ原則主義ヲ定メタノデアリマス、段々
産業界若クハ其他社會ノ實情モ複雑ニ
ナツテ參リマシテ、初メハ個人ノ自由營業デ
アリシ所ノ此紹介事業ハ、一轉シテ公益事
業トシテ之ヲ認ムルコトニナリ、更ニ再轉
シテ國家ガ之ヲ經營スルノヲ妥當ナリト考
ヘタ譯デアリマス、併シ國家ガ之ヲ經營ス
ルト云フコトニ付テモ、從來左様ナ事業ヲ
ヤッテ來タ方面ニ影響ガアリマスルカラ、此
影響ヲ少クシテ此國營ノ目的ヲ達スルコト
ニ付テハ、是ハ厚生行政ノ上ニ於テ當然努
メナケレバナラスダラウト考ヘマスケレド
モ、然ラバ此第二條ニ國營事業ト從來ノ個
人或ハ公益事業トシテヤッテ來タモノヲ、此
儘此法案ノ中ニ并立サセルト云フコトモ、法
ノ體裁トシテ如何カト思ヒマスルカラ、原

則トシテハ、ドウシテモ國營ニスベキ性質
ヲ持ッテ、殊ニ全國ノ勞務ト云フモノヲ過不
及ナク配給スルト云フコトニ致シ、更ニ之
ヲ統制シヨウト云ヘバ、勢ヒ茲ニ國營トス
ル主義ヲ明ニスルコトハ至當デアラウト云
フノデ、茲ニ從來ノ立法例ニ從ッテ、原則的
ナ主義ヲ現ハシタニ過ギナイノデアリマス、併
シ御話ノヤウナ營業ノ自由ト云フ問題ニ付キ
マシテハ、政府モ之ニ對シテ相當ナル考慮ヲ
費シマシテ、掲ゲテ置イタ場所ハ附則デア
リマスケレドモ、法律トシテ同ジクハハ效
果ヲ持ツノデアツテ、謂ハバ過渡的ノ規定ノ
ヤウニナツテ居リマスケレドモ、其點ニ於テ
ハ政府ニ於テモ出來得ルダケ、其人々ニ苦痛
ヲ與ヘナイヤウニ、其營業權ヲ餘リ侵サナ
イヤウニシタイト云フ法ノ立前デアルト
云フコトヲ、全篇ヲ通ジテ一ツ御諒解ヲ願
ヒタイトデアリマス
○濱野委員 能ク諒ト致シマシタガ、附則
ニ定メラレタコトガ吾々ハ不足ナンデス、ソ
コデ伺ヒタイトハ、先ヅ當業者ノ權益ヲ
尊重スルト云フコトニナリマスルト、凡ソ
人間ガ營業ノ主體ガ變ル場合ハ、相續ノ場
合ハ是ハ當然デアアル、相續ノ場合ニ政府ガ
干涉スルト云フコトハ、殆ド許サレナイコ
トデアリマシテ、是ハ政府ガ許可スルトカ

何トカ云フヤウナコトハ形ノ上デアッテ、之

ヲ認メナケレバ日本ノ家族制度ト云フモノ
ノ存在ハ認メラレナイ、サウシテ既得ノ權
益ト云ヒマスカ、營業ヲバ大イニ尊重スル
ト言ハレルナラバ、從來何等ノ過失ナク、

數十年ノ間老舗ヲ持ッテ居ッテ、サウシテ相
當ノ得意ノアルヤウナ人達ガ、營業權ノ讓
渡——是ハ斯ウ云フ公益事業ニ對シテハ、

吾々モ相當考ヲ持ッテ居ルカラ、ドウ云フ人
トモ言ヒマセヌガ、營業權ノ讓渡ガ行ハレ
ル場合ニ、讓渡ヲスル人モ、數十年老舗ヲ
持ッテ居ッテ、世間カラモ信用ノアル狀態デ

アリマシテ、讓受ヲシヨウトスル人モ、ヤ
ハリ同様立派ナ人デアルト考ヘラレル場合
ニ、讓受ヲシヨウトスルトキハ、營業權ノ

讓渡ニ於テハ、當局ハ何等カノ考慮ヲ同ラ
サレテ居リマスルカ、此點御明言ヲ願ヒタ
イ

○山本政府委員 先刻來濱野委員ハ、商法

ノ規定ヲ援用セラレマシテ、營業權ノ讓渡
ノコトヲ論ジテ居ラレルノデアリマス、成

程商法ニ營業權ノ讓渡ヲ規定シテ居リマス、
併シ從來内務省令ニ依リマシテ、營業ノ許可
ヲ與ヘラレテ居ル此營利職業紹介業ハ、是
ハ人ヲ限ッテ許可セラレテ居ルノデアリ
マシテ、自由ニ營業シ得ル場合トハ自ラ違

フト思フノデアリマス、商法ノ營業讓渡ノ

規定ハ、讓渡シ得ル營業ニ付テノ規定デア
リマシテ、人ヲ限ッテ許可ラシテ居ル場合
ハ、人ガ變レバ自ラ新タニ許可ヲ受ケナケ
レバナラヌト云フコトニナルノデアリマス

ルカラ、自ラ商法ノ規定カラ除外セラレル
場合ニナルト思フノデアリマス、只今濱野
委員カラ説明セラレテ居リマス民間ノ營業

ト仰シヤルノハ、即チ營利職業紹介ノコト
ヲ仰シヤルト思フノデアリマス、其場合ハ
此法律ノ規定ヲ俟タズシテ、最初カラ營業

ノ讓渡ト云フモノガ認メラレナイ性質ノモ
ノデアアル、斯様ニ考ヘルノデアリマス
○濱野委員 只今ノ政府委員ノ御説明ハ私

ハ腑ニ落チナイ、商法ハ營業ソレ自體ガ自
由ノ場合ヲ認メテ居ルノデアリマスガ、個

人ノ生活トカ、サウ云ッタモノヲバ基調トシ
テ許可ヲ與ヘルト言ハレマスケレドモ、ソ
レハ先ツ吾々カラ言フナラバ一ツノ形式デ

アリマシテ、徳川時代、明治維新前カラデ
モ、永ク續イテ居ル老舗ヲ持ッテ居ルヤウ
ナ營業者モ民間ノ中ニ在ル、サウ云フ人達
ガ、從來之ニ付テ何等譴責サレタヤウナ過
失ガナクシテ行ッテ來タトシテ、ソレガ許可
ヲ與ヘルト云フヤウナコトハ一片ノ形式デ
ス、ヤッテ來タト云フコトヲ認メルノガ許

可デアリマス、大體厚生省ニ於ケル法案ヲ

政府委員ガ説明サル、ト云フニ當ッテハ、法
律ヲバ解釋スルニハ、成ベク寛容ナル態度
ヲ持ッテ行クト云フコトガ、他各省ノ法律ノ

解釋ト趣ヲ異ニスルト思フ、是ハ謂フ所ノ
奉任ノ精神ヲ以テ計ッテ行クベキモノデア
ル、サウシマストスルナラバ、今迄存在シ

テ居ッタ所ノモノハ、讓渡ス人ニ於テ異議ノ
ナカッタ人デアアル、當然斯ノ如クンバ何人
ガ行政廳ニ居ッテモ許可シナケレバナラナ

イト云フ尊敬スベキ人柄デアアル、讓渡ヲ受
ケヨウトスル場合ニ、其人達ガ例ヘバ口入
業者ニ長イ間勤メテ居ッテ、税金ヲチャント

納メテ居ル、相當ノ資産モアル、信用モア
ルト云フヤウナ場合ニハ、ヤハリ社會的ノ

地位ノ存在ト云フモノヲ認メナケレバナラ
ヌ、其人ニ營業ノ讓渡ヲ許スト云フコトハ、
如何ニ營業ノ許可ガ特定ノ行爲デアルト

云ッテ、世間トカ、輿論ト云フモノハソレヲ
認メルノデアリマスカラ、此場合ニ於テ既
存ノ營業者ヲバ尊重スルト云フ立前デ行ク
ナラバ、私ハ營業讓渡ハ可能ダト考ヘルガ
之ヲシモ尙ホ許可制度ヲ楯ニ取ッテ、拒否サ
レマスカ、此點ハ極メテ重要ナル問題デア
リマシテ、吾々厚生省ノ指導精神ヲバ知ラ
ントスル上カラ重要デアリマスルカラ、御

答辯ハ明日デ結構デスガ、ドウゾ御願シマ
ス

○山本政府委員 ソレハ從來モヤハリ規定

ノ上カラハ、營業ノ讓渡ハ認メテ居ナカッ
タノデ、此改正法ニ依ッテ初メテ認メナイ

ト云フコトニ變更スル譯デハナイノデアリ
マス、ソレハ從來ノ行掛リニ拘ラズ、濱野
委員ノ御尋ノ趣旨ハ、厚生省トシテハ、サ

ウ云フモノハ假令法律的ニ認メヌデモ、經
濟的ニソレヲ認メテ、サウシテソレノ便宜
ヲ圖ルト云フヤウナ心持ハナイカト云フコ

トノ、進ンデノ御尋ダト思フノデアリマス、
其點ニ付テハ遺憾ナガラ此第二條ニ大原則
ヲ示シテ居リマス通り、成ベク職業紹介ハ

國營デ以テ、政府ノ手デ統制シタイト云フ
所カラ出發致シテ居リマスカラ、成ベク便

宜ヲ御圖リスルト云フコトハ、此場合御答
シニクイ狀況ニアリマス
○濱野委員 重ネテ質問致シマス、今

是ハ政府ノ管掌ニナツカカト云フコトデアリ
マスケレドモ、世間ノ一般ノ常識カラ物ヲ
考ヘテ見マスト、政府ガヤル所ノ所謂官營
タルト、道府縣ガヤル所ノ所謂自治體ノ公
營タルトヲ問ハズ、ソレハ私人ノ手ニ於テ
行ハザルコトニ於テハ軌ヲ一ニシ、民間カ
ラ見レバ、是ハ御上ガヤッテ居ルト云フコト

ニナル、政府ノ方デ政府ガヤルコトト、自治體ガヤルト云フコトヲ、別ニ考ヘラレル所ノ法律常識ガドウカト云フコトヲ私ハ考ヘサセラレル、重ネテ申上ゲマスガ、民間事業ニアラザルモノハ、政府ガ行ハウト、自治體ガ行ハウト、是ハ御上ガヤルコトダト云フコトニナル、サウシテ公營ト云フ劃期的ナ法律ガ出來タ時ニ、私設ノモノガ存在ヲ許サレテ居ル以上、ソレハ既得權デアツテ、サウ云フ既設ノ紹介事業ニ於テハ、可ナリ營業權ノ讓渡ガ認メラレテ居ル以上ハ、民間ノ立場ヲ能ク御覽ナサイ、既ニ民間ノコトヲ考ヘテヤルナラバ——特ニ厚生省ハ民間ノ人ノ立場ヲ考ヘテヤラナケレバナラス、政府ハ官營、公營ト云フコトヲ言フデモ、一口ニ言フナラバ、御上デヤルト云フコトニナルノデアツテ、政府ガヤルコトニナツタト云フノデ、第二條ノ大原則ヲ示シテシマフト云フコトハ、餘リニ是ハ時代ノ勢ト云フモノガ乗過ギテ居ルノデハナイカト思フ、ソコデ御參考ニ他ノ方面カラ申上ゲマス、統計ニ依ルト、此既設ノ職業紹介法ハ、御承知ノ通り大正十年ニ法律トシテ公布ニナツテ、昭和十一年ニ改正ニナツテ居ル、公益事業ニ依ツテ職業紹介ガ行ハレテカラ、民間ノ事業ガドウ云フ形勢ト消長ヲ示シテ居

ルカト云フコトハ、アナタ方ノ爲ニ非常ニ御參考ニナルト思フノデ、御手許ノヨリ私ノ方デ調べタ材料ニ依ツテ申上ゲマス、此處ニアルノハ大正十三年デアリマス、ハッキリ申上ゲマスガ、大正十三年ニハ民營職業紹介所デ世話シマシタ所ノ就職者ノ成績ハ、男三十二万九百九十三人、一口ニ是ハ三十三万人デス、大正十四年ニハ三十三万人、大正十五年、所謂昭和元年デアリマスガ、三十三万八千人、ソレカラ累次漸減シマシテ、昭和二年ニハ二十一万人カラ、昭和六年ニハ十九万人ニ減ツテ居リマスノデ、大正十三年カラ六年ノ前後十年ノ間ニ、三十三万人ガ十九万人ニ累減シテ居ル、然ル所昭和七年カラ段々増シテ來マシテ、昭和七年ニ二十一万人デアリマシタモノガ、昭和十年ニハ二十三万四千一人、昭和十一年ニハ二十二万四千一人ヲ占メテ居ル、何故カト云フト、昭和六年七年頃ハ非常ニ不景氣デアツタ、ダカラ就職モ少ナカタガ、ヤハリ時代ノ勢ニ乗ツテ民間ノ紹介者ガ殖エテ來テ居ル、女ハドウカト云フト、女ハ殖エテ居ル、大正十三年ハ二十一万人デアツタノガ、昭和六年ハ不景氣ノサナカデ三十万人、昭和十一年ガ三十二万二千五百二十五人ニ殖エテ居ル、公設ノ事業ノ職業紹介ガ明ニ存在シテ居ル

ニ拘ラズ、時代ノ不景氣ノ時ハ段々減ツテ居リマスガ、景氣ガ好クナツタ昭和七年ニナルト、グウツト民間ノ紹介所デ扱フ人ガ殖エテ居ル、殊ニ女ハ殖エテ居ル、女ハ景氣ノ如何ニ拘ラズ、ドン／＼二十万人カラ三十万人ニ殖エテ居ルト云フコトハ、何ヲ示スモノデアリマスカ、是ハ既設ノ公營職業紹介所以外ニ、民設ノ職業紹介所ガアルト云フコトヲ、ハッキリ示スト共ニ、其必要ヲ示シテ居ル、公益事業ト云フモノヲ、政府ハ一體何ト御覽ニナツテ居ルカ、同じク政府ノ監督ニナル府縣自治體ト云フモノノヤル成績ガ擧ガラナイデ、民營ノ事業ハドン／＼就職者ガ殖エテ居ル、女ハ二十万ガ三十万ニ殖エテ居ルコトハ、是ハ何ヲ示シテ居リマスカ、是ハ明ニ民營事業ト云フモノガ民間ニ存在ヲ認メラレテ、仕事ガ活潑ニナリツ、アルト云フコトヲ示シテ居ルノデアアル、ソレヲ職業紹介所法ガ出來テ、斯ウ云フ成績ヲ示シテ居ルニ拘ラズ、ナゼ斯ウ云ツタ存在ヲ無視シテ、法律ノ二十二條ニア、云ツタコトヲ示シタカ、立場ヲ換ヘテ言フト、其存在ヲ認識スルト云フコトハ、營業狀態ト云フコトト大イニ關聯ガアルト思ヒマスノデ、此點御考ヲ願ヒタイ

○工藤政府委員 是等ノ事業ニ至ツテハ、又事務當局ノ方ニ資料ノ準備モアリマセウガ、大體私共ノ考デハ、此公營事業ニシテモ、民營事業ニシテモ、勞務ノ過不及ヲ調節スルト云フコトノ機能ヲ大分缺イテ居ル、隨テ之ヲドウ調節シタラ宜イカト云フコトハ、固ヨリ勞働界ニ於テハ、勞働者ニ對スルソレゾレノ取扱方法モアリマスケレドモ、所謂廣ク勞務ト云フコトニナツテ來ルト、公營事業ハ其地域ニ限り、民營事業モ自ラ其範圍ハ限定サレテ居リマスルカラ、統制ノアル勞務ノ過不及ヲ調整シテ行クト云フコトデアレバ、ドウシテモ國營ニシナケレバナラス、是ガ一番便利、外ニ便法ハアルカモ知レマセスケレドモ、先ヅ是ハ非常ナ便利ノ方法デ、ヤハリ國ノ力デ、各地方ニ國ノ施設ニ依ツテ之ヲ行フト云フコトハ公平ニモナルシ、配給ノ上ニ非常ナ便利デアルカラ、寧ロ國營ニスルコトハ、今日ノ日本ノ情勢上必要ナリトシテヤツタノデアリマス、民間ノ就職者ガ民營ノ營業者ノ手ヲ經テ、此就職者ヲ取扱ツテ居ルト云フ事實ハ動かカスベカラザルモノデアアル、是ハドウシタツテ政府一點張り、官僚一點張りデハ、斯ウ云フ大仕事ハ出來ルモノデハナイ、殊ニ今漸ク公營事業ヲ五年バカリヤツテ、稍、其成績ヲ見テ、國家ノ經營ニ移サウト云フコトデア

リマスルケレドモ、尙ホ民間ニ於ケル其營業者ノ勢力、及び社會上ニ相當ナル網ヲ持ツテ居ルト云フコトダケハ政府モ認メテ居ル、是等ラドウシヨウカト云フコトニ付テハ、民間ノ陳情モアリマスルカラ、法律ヲ施行ト同時ニ、其方面ニ對シマシテモ、厚生省ハ所謂厚生主義ニ依ッテ、厚生精神ニ依ッテ、何等カ妥當ナルコトヲ考ヘナケレバナラスト云フノデ、現ニ事務當局ニ於テモ只今研究シテ居リマス、デアルカラ御示シニナツタ數字ハ、實ハ景氣、不景氣ニモ關係アリマセウシ、色々ナ關係ガアツテ、何處ニドウ云フ本當ノ眞理ガ伏在シテ居ルカハ、單ナル數字ノ上ニ於テハ分リマセヌケレドモ、併シ民間ノ手ヲ經テ來テ居ルト云フコトノ事實ダケハ肯定シテ宜イコトデアルカラ、職業紹介所ト云フ勞務ノ配給ニ對シテ、過去ノ業者ノ國家竝ニ社會ニ貢獻シタコトハ、國家モ相當認メテ宜カラウト思フ、併シ之ヲ認メタカラト云ツテ、保證スルト云フ限リデアリマセヌケレドモ、私ハ確ニ御話ノ通りノ心持ヲ以テ、此法案ヲドウカ立派ニシテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○濱野委員 其點ニ付テ重ネテ申上デマス、御説明ハ大イニ諒トスル所ガアリマス、吾々モ本法ヲ出サウトスル所ハ、先程申シマ

シタ大キナ二大原因ト、全國的ニ勞務ノ需要供給ヲ調節シヨウト云フ、頗ル大規模ノ國家的ノコトデアツテ、本法ノ必要ハ根本的ニ認メルノデス、併ナガラ物ヲ大キク張ツタカラト云ツテ、小サイモノガ全部抄ヒ上ゲラレルモノデハナイノデス、鮎ヲヤル所ノ「トロール」デ、沿海ノ小魚マデハ抄ヘナイノデスカラ、全國的ニ大量ノ、例ヘバ復歸サレタ兵隊サンガ各地方ニ是ダケ居ル、所ガ神戸ノ造船所デハ大量ニ要ルト云フヤウナコトハ、民營ノ小規模ノモノハ望シデモ居ラナイ、期待モシテ居ラナイ、斯ウ云フコトハ國家的ニ大規模ノ統制ヲ取ツヤル必要ガアリマス、ソレカト云ツテ、例ヘバ家庭ニ於ケル小僧サントカ、玄關番トカ、或ハ女中サント云フモノハ、オ役人ノ手デヤツテハ駄目デス、ヤハリ是ハ長イ間——政府委員ノヤウニ立派ナ家庭ヲ御持チノ方ハ、女中ト書生ヲ使ハナイ方ハナイデセウカラ、女中ト書生ヲ一人デモ使ツテ居ル方ハ御承知デセウガ、公營ノ職業紹介所ニ行ッテ、幾ツ位、十三カラ十五、何處々々生レト云フコトデハ駄目デス、口入屋トカ桂庵ハ、家庭ノ事情ヲ能ク知ツテ居ツテ、アソコノ奥サンハ斯ウ云フ人ダカラ斯ウ云フ者ガ宜イ、アソコノ主人ハ喧シ屋デ、政治家デ

アルカラ、斯ウ云フ人ガ宜イト云フヤウニ、個性ヲ知ツテ居ル、ソコニ大キナ國家ノ統制トシテ國立ノモノガ必要デアルト共ニ、民間ニハ民間ノ營業者モ必要デアル、民間ノ營業者ハ大量ノ供給ヲ自ラ行ハウト云フ、大キナコトハ考ヘテ居リマセヌ、茲ニ考ヘラレル必要ガアルト思ヒマス、モウ一ツ例ヲ申上ゲテ御注意ヲ促シテ置キマス、先程申シマシタ通り、就職者ノ數ガ殖エテ居リマスガ、營業者ノ數ハドウデアルカ、此職業紹介所法ノ實施サレマシタノハ大正十年ノ七月一日カラデス、其後ノ大正十三年ノ統計ハ、營業者ノ數ガ全國ニ一萬九千七百一十一、一萬、ソレガ段々減ツテ、昭和六年ニハ三千百、昭和十一年ニハ二千二百六十五ニ減リマシタ、營業者ガ五分ノ一ニ減ツタ、而モ取扱者、就職サシタ數ガ、先程申シタ通り二十萬カラ三十萬ニ殖エタ營業者ノ數ガ大正十三年カラ今日迄ニ、一萬ノモノガ五分ノ一ノ二千ニ減ツテ居ル、是ハ何ヲ示スカト云フト、親ノ心子知ラズデ、公營ノ職業紹介所同時ニ私設ノ職業紹介所ノ存在ヲ尊重シ、認識スルト云フ、政府ノ今言ハレマシタ厚生精神ト云フモノガ、地方ノ官憲ニ行渡ツテ居ラナイ、地方ノ官憲ハ何デモ彼デモ公營ト云フノハ、市町村ノ手デヤルノ

ガ公營デアツテ、ア、云フ民營ノ幾ラカ金ヲ取ツヤルノハ潰シテシマヘト云フ、誤ツタ親ノ心子知ラズデ、地方ノ者ハア、云フ立前ノモノハ無クシテシマフト云フノデ、干涉シテ營業ノ存續ヲ許サナイ、存續ノ場合モ文句ヲ付ケルト云フヤウニシテ、十四五年ノ間ニ一萬ノモノガ五分ノ一ノ二千ニナツタト云フコトハ、アナタ方ハ御考ニナツテ居ルカ、指導精神ト地方ノ官憲ノ實際ノヤリ口ト違ツテ居ルト云フコトヲ御考ニナリマセヌカ、此現象ヲ如何ニ御考ニナツテ居リマスカ、政府ノ意見ヲ承リタイ

○工藤政府委員 濱野委員ノ御心持ハ、少クモ私ハ能ク分ツテ居リマス、一般ノ官僚ノ取扱ハ、私ハ役人ヲシタコトハ今度初メデスカラ分リマセヌガ、世間ニハ官僚獨善トカ、橫暴ト云フ聲ノアルコトハ、否定出來ナイノデ、能ク私ハ其心持ハ分ル、然ラバ心持ガ分ルカラト云ツテ、此法律ヲドウ云フ工合ニ編成シ替ヘタナラバ宜イカ、其處マデ決心ハ付キマセヌケレドモ、厚生精神、厚生主義ヲ以テシテ行カナケレバナラスコトニ付テハ、厚生行政ノ上ニ出來得ルダケノ努力ヲ致ス積リデアリマス、一面ニ於テハ失業救済ヲヤラナケレバナラヌヤウナ役所ガ、一面ニ於テハ故ナク失業者ヲ作ッ

テ、貧困者ヲ増加スルコト云フヤウナコトハ、是位矛盾シタコトハナイ、私ハ其點ハ濱野君ノ御精神ハ頗ル尊重シテ拜聴シテ居リマスカラ、之ヲ運用スルコトニ付テノ萬全ノ方法ヲ十分研究シテ、其妥當ナルコトヲ實行シタイト考ヘテ居リマス

○濱野委員 只今ノ政府委員ノ御答辯デ、吾々モ大イニ諒ト致シマスガ、私ハ更ニ立場ヲ換ヘテ事務當局ニ伺ヒタイ、斯ウ云フ今マデノ民營事業ノ存續、存在ヲバ認識セヨト云フコトハ、統計ニ依ッテ示シタノデアリマスガ、以下歴史ニ依ッテ伺ヒタイ、即チ從來ハ公營ノ無料職業紹介所ト並行シテ業務ニ當ッテ居ルト云フコトニ付テ、政府ガ一ツ確認シタコトガアリマス、昭和十年五月ト言ヘバ、此既存ノ職業紹介所法、即チ公營ノ職業紹介所法ガ出來テカラノコトデアリマスガ、昭和十年五月、三年前デス、樞密院ノ事務所ニ於テ、一木、平沼正副議長以下各樞密院議員、後藤内務大臣、時ノ社會局長官赤木氏、又外務省カラ栗山條約局長、金森法制局長官等ガ出席シマシテ、有料職業紹介所、即チ民間ノ職業紹介所ニ關スル條約案ヲ上程シタ時ニ、後藤内務大臣ヨリ「我國ニ於テハ既ニ有料職業紹介所ガ次第ニ改善セラレ、其機能ヲ發揮シテ居リ、

公營ノ無料紹介所ト並行シテ、其業務ニ當ッテ居ルカラ、特ニ條約ノ御諮詢ヲ奏請スルニ及バナイ」ト言ッテ、政府ノ意見ヲ採擇決議シタト云フ事實ガ儼トシテ存スルノデアリマス、翌年ノ昭和十年六月ニ樞密院ノ御前會議ニ於テ、第十七回労働會議ノ採擇ニ係ル有料職業紹介所廢止ニ關スル條約案其他七件ハ、我國ノ現狀ニ適合セザル條約ナリト政府ガ認メマシテ、樞密院モ認メマシテ、政府原案通り、只今讀上ゲマシタ通り、會議ニ於ケル後藤内相ノ主張ト云フモノガ、樞密院ニ於テ同ジク認メラレ、此有料職業紹介所廢止ニ關スル、第十七回労働會議ノ採擇ニ係ル條約案ノ御批准ヲ仰グベキモノニアラズト云フコトヲ、樞密院ノ御前會議ニ於テ決議サレマシタ、國際的ノ斯ウ云フ經歷ヲ顧ミテ、會議ニ於テ公式的ニ認メラレタモノガ、殆ド今カラ三年バカリニシカナリマセス所ノ、是ダケノ最近ノ歴史、而モ樞密院ノ御前會議ニ於テ、國際會議ノ條約ハ御批准ヲ仰グベキモノニアラズト、ハッキリ決シタ事實ヲ、今カラ三年前ニ政府ノ裁量トシテ、斯ク扱フベキ必要アリト申サレマシタ所ノモノヲ、一片ノ條文ニ依ッテ廢止スルノデアリマスガ、之ヲ伺ヒタイ

○山崎政府委員 濱野サンノ御質問ニ對シテ私カラ御答申上ゲタイと思ヒマス、今回ノ職業紹介所法ノ立案ノ趣旨ニ付キマシテハ、先程提案ノ説明ナリ、或ハ政務次官、參與官カラ申上ゲマシタコトニ依ッテ、大體御諒承ヲ得タヤウニ存ズルノデアリマス、重ネテ詳シイコトヲ申上ゲルコトハ差控ヘタイト存ジマスガ、御承知ノ通り現行ノ職業紹介所法ハ、公營主義ト有料、無料ノ主義トヲ、並行的ニ認メタヤウナ立法ノ立前ニ相成ッテ居リマス、併ナガラ從來カラ公營、市町村營ヲ中心トシマシテ、此事業ノ發達ヲ圖ツテ參ツタノデアリマス、唯一昨年議會ノ協賛ヲ仰ギマシテ、市町村營ノミヲ以テシテハ不便ノ場合モゴザイマスノデ、例外ト致シマシテ、特殊ノ地方ニ於テ、道府縣營ヲ特ニ認メルコトニ致シマシテ、今日ニ及ンデ居ルノデアリマス、然ルニ此道府縣營並ニ市町村營ノ原則ニ依リマス、職業紹介事業ノ運營ノ實情ヲ見マスト、殊ニ現下ノ時局ニ適應シ難イヤウナ點モ多々アルノデアリマス、一二ノ例ヲ取ッテ申上ゲテ見マスナラバ、今日ノ制度ヲ以テシマシテハ、職業紹介網完成ノ完備ヲ圖ルコトハ、中々ムズカシイヤウナ狀況デアリマス、又職業紹介所ノ機能ガ、經營市町村ノ地域ニ限局セラレル虞ガアルノデアリマス、ソレ以上ニ手ヲ伸バスコトハ

困難ナ事情ニアリマス、更ニ各地方間ノ連絡ノ問題ニ付キマシテハ、今日ノ狀況ニ於キマシテハ、ドウシテモ徹底ヲ期シ難イ點ガアリマスカラ、全國的ノ見地ニ立チマシテ、勞務需給ノ調整ヲ圖リマスニハ、ドウシテモ此國營ガ必要ニナッテ參リ、今回ノヤウナ提案ヲ見タヤウナ次第デアリマス、尤モ國營ノ今回ノ提案致シマシタ法律案ガ、幸ニ御協賛ヲ得ルコトニ相成リマスレバ、今日ノヤウナ職業紹介所ノ狀況ト餘程變ッテ來ルノデアリマシテ、或ハ其分布ノ狀態ニ致シマシテモ、其職業紹介所ノ規模ニ致シマシテモ、非常ニ擴充サレタコトニナルト思フノデアリマス、數コソ四百ノ職業紹介所ト致シテアリマスガ、其手足ト致シマシテハ、市町村長ナリ、更ニ此法律ノ第四條ニゴザイマスル所ノ聯絡委員ヲ各地方ニ置キマシテ、全國的ニ職業紹介網ノ完備ヲ圖ルコトニ考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ今後此國營ノ案ガ實施セラレマスル場合ニハ、餘程從來ヨリモ公營ノ事業ニハ手ガ伸ビルコトノ豫想ガ出來ルヤウニ考ヘルノデアリマス、併ナガラ先程カラ段々御話モゴザイマスヤウニ、營利有料ノ職業紹介事業ニ付キマシテハ、現ニ其營業ノ許可ヲ受ケマシテ、相當ノ働キヲ致シテ居ル營業

者モ、二千數百人ニ上テ居ルヤウナ狀況デ
ゴザイマシテ、今是等ノ營業ヲ禁止致シマ
シテ、打撃ヲ與ヘマスコトハ、是ハ餘程厚
生省トシテハ考ヘナケレバナラヌ點デアル
ト思ヒマス、隨ヒマシテ現ニ營業ノ許可ヲ
受ケテ、其營業ヲ繼續シテ居リマスモノニ
付キマシテハ、特別ノ規定ヲ置キマシテ、
從來通りニ此營業ガ繼續サレ、サウシテ相
當ナ働キヲ爲スヤウナ立前ニ考ヘマシタヤ
ウナ次第デアリマス、先程カラ段々ト數字
等ニ付キマシテ御尋モゴザイマシタノデア
リマスガ、大正十三年ニ一万數千ノ營業者
ガアッタノガ、現在二千數百ニナッテ居ルト
云フ御尋デゴザイマシタガ、大正十三年時
代ノ統計ノ基礎ガ一寸違ッテ居リマシテ、其
一万數千トゴザイマスルノハ、藝妓ノ特
別ノ紹介所ガ入ッテ居ルノデアリマス、隨ヒ
マシテ大正十四年デアリマス、ズット下ッ
テ居リマスガ、其關係ハ統計ノ基礎ガ違ッテ
居ルコトヲ御承知願ヒタイト思ヒマス、唯
併ナガラ從來カラ營業ノ許可ニ付キマシテ
ハ、相當ノ取締規則ニ依リマシテ、地方廳
ニ於キマシテ取締ヲ致シテ居リマスカラ、
餘リ新タナ營業ノ許可ト云フモノガ最近デ
ハ殆ド少クナッテ居ルヤウニ考ヘマスノデ、
今日二千數百ニナッテ居ルヤウニ考ヘルノデ

アリマス、尙又營利ノ事業ノ成績ニ付キマ
シテ、先程御意見ガゴザイマシタガ、是モ
私共ノ方ノ統計ニ依リマスルト、大體男女
合セマスルト、營利ノ成績ハ此十數年殆ド
變ッテナイヤウナ狀況ニ相成ッテ居ルノデア
リマス、是ハ後程御手許ニ資料ノ完全ナモ
ノラ差上ゲテ、ソレニ依ッテ御承知ヲ願ヒタ
イト思ヒマス、ソレニモ拘ラズ公營ノ職業
紹介所ノ成績ハ、最近十數年ニ非常ナ増加
ヲ示シテ居ルノデアリマス、大正十年頃カ
ラノ比較ヲ採ッテ参リマス、今日デハ三倍
以上ニナッテ居ルヤウナ狀況ニナッテ居ル、
是ハ統計ノコトデゴザイマスカラ、念ノ爲
ニ申上ゲテ置キタイト存ジマス、尙ホ最後
ニ樞密院ニ、此營利職業紹介所ノ廢止ニ關
スル勸告案ガ出マシタ時ノ事情ニ付テ御尋
デゴザイマスカラ、是モ便宜私カラ御答致
シテ置キタイ思ヒマス、從來内務省時代、
即チ社會局時代カラ、此營利職業紹介ニ付
キマシテハ、大體只今樞密院デ問題ニナッ
ヤウナ、御話ノヤウナ處置トハ多少變ッ
處置ヲ、吾々トシテハ執ッテ参ッテ居ルノデ
アリマス、ト申シマスルノハ、樞密院ニ勸
告案ガ御諮詢ニナリマシタ時ノ政府ノ態度
ト致シマシテハ、ヤハリ營利職業紹介事業
ニ對シテ、寧ろ漸次是ガ減少ノ方針ヲ圖ッ

テ、出來ルダケ公益無料職業紹介事業ヲ行ッ
テ、之ニ代ラシメルト云フ説明デ、從來カ
ラ參ッテ居ルノデアリマス、併シ今直チニ此
營利ノ事業ヲ禁止致シマスルコトハ、是ガ
影響スル所モ非常ニ多イノミナラズ、又先
程カラ段々濱野サンカラノ御話ニアリマス
ヤウニ、營業權ノ問題等モゴザイマスノ
デ、今直チニ是ガ禁止ヲ圖ルコトハムツカ
シイト云フ趣旨デ、今日マデ一貫シタ方針
ノ下ニ進ンデ參ッテ居ルノデアリマス、多少
其點ガ御話トハ違ッタヤウナ所モアルヤウ
デゴザイマスカラ、念ノ爲ニ申上ゲテ置キ
タイト存ジマス、大體御尋ニ對シテ御答ヲ
致シマシタ

○濱野委員 重ねテ申上ゲテ置キマスガ、私
ト雖モ此立法ノ趣意ヲ根本カラドウ斯ウト
言フ譯デハナイノデス、是ハ何處マデモ大
量的ニ物ヲ扱ッテ、全國的ニ網ヲ張ルノデア
ルカラ、其網ノ目溢レノ地方的ノ、家族的
ノ、家庭的ト云フ點マデハ、公營デ立入ル
ベキモノデハナイ、ソレデハ十分ノ效果ヲ
舉ゲ得ナイ、今マデ民營ノモノヲ認メテ、
サウ云フモノニ委託シテ居ッタヤウナモノ
ハ、ヤハリ便宜デアルカラ、サウ云フ方面
カラモ存在ヲ認メテヤッテ呉レト云フコト
デス、ソレデ一二此際ニ御尋ヲ申上ゲマス
ト、例ヘバ家族制度、主從制度ノ美風ニ合
致シタル、唯一ノ公共勞務調節機關トシテ
存在シテ居ル、ソレガ偶、銃後ノ固メトシテ、
戰地ニ活躍サレタ勇士諸君ノ凱旋後ニ於ケ
ル、勞務ノ調節ト云フヤウナ點カラ考ヘマ
シタトキニ、サウ云フ人ヲ出シテ居ルヤウ
ナ家庭ガ、或ハ民間ノ職業紹介所デアルカ
モ知レナイ、大ノ蟲ヲ活カス爲ニ小ノ蟲ヲ
殺ス、而モ小ノ蟲ハ、從業員トモ二萬餘ニ
上ルト云フトキニ、工藤政務次官ノ言ハレ
マシタ、厚生省ノ固有ノ精神デアル厚生精
神ト云フモノニ依ッテ、十分是ハ御考ヲ願
ヒタイ、ソレカラ有料々々ト言ハレマス
レドモ、私達自分ノ經驗ニ依リマス、良
イ女中ト良イ書生トガ來テ呉レ、バ、僅カ
バカリノ手數料ノ如キモノハ厭ウテ居ラナ
イノデス、此點モ十分考慮セラレタイ、結
局ハ今日民間ニ存在シテ居ル有料ノ紹介所
ノ本來ノ立場ハ、日本固有ノ美風デアル家
族ノ雇傭、個々ノ家ニ雇人ヲ供給スルト云
フ立前デアッテ、而シテ家庭ニ對シ公益職業
紹介所ガ、政府ノ役人ガ干與、干涉スルコ
トハ、面白クナイト云フ點モ考ヘラレマス
カラ、政府トシテモ十分御考慮アリタイ、
ソレカラ地方ノ官憲——先程私ガ資料ヲ提
供シタコトハ、ドウ云フ所ニアルカト言

へバ、職業紹介所ノ所長ナルモノヲ、官歴ノ一ツノ段階ト考ヘテ、此謀長カラ今度ハ部長ニナルノダト云フヤウナ心掛デ、出世ノ段階ト考ヘテ居ルヤウナ人達ガアットシタラ、奉仕ヲ精神トスル厚生省ノ指導精神ニ反スルノデハナイカト云フコトヲ虞レテ居ルカラ、此點モ十分御考慮ッテ置キタイ、次ニ伺ヒマスガ、今度ハ法律的デス、營業ノ讓渡ガ許サレナイ場合ニ、之ヲ一ツ

相續スル、例ヘバ親父ガ死ンダ場合ニ、男ノ兄弟ガ三人アルカラ、之ヲ合資ニスルト云フコトハ許シマスカ、是モ一ツノ相續ノ態樣デス、私ノ伺ヒタイノハ、合名會社、合資會社——マサカ株式會社モナイデセウガ、序ニ伺ッテ置キマス、サウ云フヤウニ營業權ヲ現物出資シテヤル、サウ云フヤウナ事ハ許サルベキモノデアルト考ヘマス、ソレハ其老舗、過去ノ信用ヲ中心トシテ生キテ行カウト云フ點ニ於テハ、相續ト變リナイヤウニ思ヒマスガ、是ハ法律的デスカラ、明日御答ヲ願ヒマス、次ニ民營ノコトバカリ言ッテ居リマシテ甚ダ恐縮ニ存ジマスガ、改メテ伺ヒタイ、政府ガ此法律案ヲ御出シニナリマシタ指導精神ハ、從來ハ斯ウ云フ法律ハ社會政策ノ一端トシテ現レテ參リマシテ、又勞資ノ協調ト云フコトガ、指導精神

デアッタノデアリマス、ヤハリ之ニ臨ムノニハ、勞資ノ協調ト云フコトヲ指導精神トシテ居リマスカ、之ヲ伺ヒタイ

○工藤政府委員 如何ナル場合デモ勞資ハ協調シテ行クベキコトデアラウト考ヘマシガ、(笑聲)此場合ニ於テモ、ヤハリ勞資協調ノ精神ヲ以テ圓滿ニ行カウト希望シテ居ル所ニ、立法ノ趣旨ガアルト云フコトヲ御諒承願ヒタイ

○濱野委員 只今ノ御聲明ハ、本案ニ對シテ極メテ重大ナル聲明デアルト思フ、是ハ笑ヒゴトデナイ、勞資協調デアルト、ドウシテモ奉仕ノ精神デ立タナケレバナラヌガ、近頃ハ政府ノ爲ス所ハ、背景ニ時局ノ流レト云フモノヲ負ウテ、否ガ應デモ民間ニ物ヲ押付ケョウトスル、例ヘバ工場デ三人要ル、茲ニ兵隊サンデ戻ッテ來タ人ガアル、其人ハ國家ノ爲ニ働イテ、多少ノ怪我ヲシテ歸ッテ來タノダカラ、オ前ノ所デ使ヘト云フヤウニ、無理押シニヤラレルコトガアルカモ知レナイ、サウ云フコトデハ事業ノ經營上面白クナイ、引受ケル方ノ工場ニ於テモ能率ガ違フ、行ク方ノ人モドウカ、斯ウ云フ場合ニハ勞資協調デアラナラバ、親切ノ心ヲ以テ適材ヲ適所ニ當嵌メルト云フヤウニセナケレバナライノダガ、大量ノ需

要ニ對シテ大量ノ供給ヲスルト云フヤウナ、抽象的ノ概念ニ立ッテ、所謂オ役人ノ氣持ニ乗ジテ、何デモ彼デモ戰地カラ歸還シタノダカラ、君等モ我慢シタマヘト云フヤウニ、政府ガ後々ニ何モノカラ負ウテ押付ケル、其證據ニハ、近頃ハ軍需品ノ下請工場ニハ、陸海軍ヲ退役シタ人デナケレバ、重役ガ勤ラナイト云フヤウナ傾向ガアル、斯ウ云フ形デ押付ケラレテハ、行ク方ノ人モ困ル、來テ貰フ方ノ人モ困ル、勞資協調ノ精神ガ指導精神ダト云フコトヲ言明サレタガ、アナタ方ハ最高ノ人ダガ、アナタ方ノ指導シテ行ク所ノ地方廳ノ役人ガ、果シテ勞資協調ノ精神デヤッテ呉レカ、今ノ官僚ト云フモノハ時局ノ波ニ乗ッテ、權力ヲ背景ニシテ、何デモ彼デモ官僚萬能デヤッテ行ク、茲ニ私ハ當局ノ運營ニ對シテ嚴重ナル御注意ヲ願ヒタイ、モウ一遍重ネテ御言明願ヒマス

〔委員長退席 野口委員長代理著席〕

○工藤政府委員 ソレハ職業紹介所ノ指導精神ニ關スルコトデアリマスカラ、私カラ御返事シマス、大量ヲ取扱フガ爲ニ勞資協調ヲ忘レル譯デハアリマセス、大量ヲ取扱フ場合モ、少量ヲ取扱フ場合モ、ヤハリ徹頭徹尾勞資協調デ行クコトガ此法律ノ目的

デス、隨テ此職業紹介所ハ、勞務ノ需要供給ヲ圓滑ナラシメテ、而モ亦其職ニ就イタ者ハ、其職ニ忠實ニ勤メテ行クヤウニ指導シテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居ル、只今ノ歸還兵ニ職ヲ與フル場合ニ於テ、官憲ノ力ヲ以テ事業家ニ之ヲ強要スルト云フコトハ、固ヨリ此法ノ精神カラ見マシテモ、亦紹介所ノ權限カラ行キマシテモ、ソシナコトハ絶對ニ避ケナケレバナラヌ、之ニ付テノ何等カノ方法ハ、具體的ニ御協賛ヲ仰グト云フヤウナ問題モ出テ來ルカモ知レナイガ、決シテサウ云フヤウナ精神デナイト云フコトダケハ明ニ致シマシテ、ヤハリ勞務ノ需給ニ關シマシテハ、徹頭徹尾勞資協調主義ヲ以テ立ッテ行キタイと思ヒマス

○濱野委員 甚ダ長クナッテ恐縮デスガ、モウ二三點ダケ伺ッテ置キタイと思ヒマス、既ニ勞資協調ヲ以テ此指導精神トスル以上ハ、萬一世話ヲシテ入レマシタ所ノ就職者ト雇傭者ノ間ニ、爭議ト云フヤウナコトガ起ッテ、ソレガ團體的ノ「ストライキ」ト云フヤウナ所ニ至ラス場合ハ、進ンデ之ヲ調停スルヤウナ心構ヲ持ッテ居ラレルノデアリマスカ

○工藤政府委員 工場其他ニ付テハ別ニ工場法モアリマシテ、其方法ハ立ッテ居リマ

ス

ス、ソレ以上外ノ場合ニ於キマシテハ、時
ト場合ニ依ッテハ、ドノ程度マデ立會フノ
カ知レマセヌケレドモ、其精神ダケハ持ッテ、

五ニ其關係者ニ之ヲ勸誘シテ、サウシテ平
和ノ間ニ就業ヲ繼續セシメタイト云フコト
ニ於テハ、ヤハリ此法律ノ精神トスル所デ
アルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○濱野委員 ソコデ一點、此第三條ノ職業
指導、及ビ必要ニ應ジ職業輔導ト云フコト
ヲ營マレルコトニナッテ居リマスガ、只今
ノ勞資ノ爭議トマデ至ラス場合ニ於ケル御
考慮ニナリマシタ點ハ私満足致シマスガ、
此第三條ノ時ニハ、何カ團體的ニ教練トカ、
訓練ト云フヤウナコトデモ御考ガアルノデ
スカ、實際上ノ取扱ヲ伺ヒマス

○山崎政府委員 只今工藤政務次官カラ爭
議ニ付キマシテ御説明ガゴザイマシタノ
デ、重ネテ申上ゲルノモドウカと思ヒマス
ガ、補足シテ一言ダケ申上ゲテ置キマス、
先程カラ段々御話モゴザイマスルヤウニ、
此職業紹介法ノ精神ハ、個人ノ自由意思ヲ
尊重致シマシテ、就職斡旋ヲ致スノデゴザ
イマスカラ、爭議等ニ付キマシテ、職業紹
介所ガ色々ノ措置ヲ致シマスルコトハ、考
ヘテ居ラナイ譯デゴザイマス、サウ云フヤ
ウナ場合ニハ、他ノ方策ニ依リマシテ解決

ヲ圖ルコトト致シマシテ、此法律ト致シマ
シテハ、サウ云フ點マデハ考ヘテ居ラスト
御承知ヲ願ヒマス

○濱野委員 サウスルト職業指導ト云フ目
的ガ、何處ニ一體實現スルノデアルカト云フ
コトヲバ考ヘサセラレマス、私達ハ此條文
ヲ率直ニ申シテ、立法ノ精神ニ顧ミマス、
少クトモ同種類ノ工場ニ勤メタイト云フヤ
ウナ人ニ對シテハ、多少團體的ノ——職能

教育ト此頃申シマスガ、職能教育ト云フコ
トヲ進シテオヤリニナルベキガ、本來デヤ
ナイカト思フノデスガ、此法案ガ豫テ申シ
マスル通り、大量ノ求人ニ大量ノ——何ト
云ヒマスカ、應需ト云ヒマスカ、サウ云フ
點カラ考ヘルト、自然共通ノ工場向キトカ、
或ハ商店向キトカ云フヤウナコトニ、職能

ノ教育ノ一端ヲバ、厚生省ハ此法案ニ於テ
進シテオヤリニナル御考ヲ御持チニナリマ
スカ、吾々ノ希望トシテハ、寧ロソレガ必
要ダと思フノデス

○山崎政府委員 職業指導ト職業輔導ニ付
テノ御尋デゴザイマスルガ、此處デ申シテ
居リマスル職業指導ハ、主トシテ此仕事ノ
分析、或ハ勞働事情ノ調査デゴザイマス
カ、或ハ實際ドウ云フ仕事ガ本人ニ適スル
カト云フヤウナ、適職ノ綜合的ノ調査デゴ

ザイマスツカ、或ハ就職後ニ其人ニ對シマ
シテ色々ノ世話ヲ致シマス所謂就職後ノ補
導デゴザイマス、サウ云フコトヲ大體考ヘ
テ居ルノデゴザイマス、現在デモ相當公營

ノ職業紹介所ニ於キマシテハ、少年ノ職業
指導等ヲ現ニヤッテ居ルノデゴザイマス、小
學校ト連絡ヲ致シマシテ、小學校ヲ出マシ
タ少年ヲ、小學校ノ方デモ能ク本人ノ環境
ナリ、或ハ個性ナリ、或ハ諸般ノ社會的、
經濟的ノ事情ヲ考慮シマシテ、適職ヘ指導
スルト云フヤウナコトヲヤッテ居リマスル

シ、又職業指導ヲ職業紹介所ノ方デモ更ニ
續ケテヤリマシテ、サウシテ小學校ノ生徒
ガ良イ職業ニ就キマスルヤウ指導ヲヤッテ
居リマスルノガ、大體現在ノ狀況デアルノ
デゴザイマス、此職業指導ヲ從來以上ニ、
國營ノ職業紹介所ガ段々ト充實致シテ參リ
マシタ場合ニハ、紹介所ニ於キマシテ執リ
行ヒマシテ、一層此若イ人々ガ良イ仕事ニ

就キマスルヤウニ、指導ヲ致シテ行キタイ
ト考ヘテ居リマス、ソレカラ職業輔導ノ問
題デゴザイマスガ、是ハ仕事ニ就キ易イヤ
ウニ幾ラカ訓練ヲ與ヘマシテ、例ヘテ申シ
マスルト、何ニモ腕ノナイ人ニ「タイプ
ライター」ヲ教ヘテ見マシタリ、或ハ簡單ナ理
髮ノ仕事ヲ教ヘテ見マシタリ、サウ云フコ

トハ現在デモヤッテ居リマスルガ、斯ウ云フ
風ナ——何ト申シマスルカ、簡單ナ仕事ノ訓
練、腕ニ幾ラカ自信ヲ付ケサセルト云フ意
味ノコトガ、此處ニ申シマスル職業輔導デ

アルノデゴザイマス、斯ウ云フコトモ段々ト
職業紹介所ガ充實シテ參リマスレバ、紹介
所ニ於キマシテ就職ノ斡旋ヲ致シマスル上
ニ、非常ニ必要ナコトデゴザイマスカラ、
紹介所ニ於キマシテ執リ行ッテ行キタイ、斯
ウ云フ趣旨デ行クノデアリマスカラ御承知
ヲ願ヒマス

○濱野委員 此際三點一過ニ纏メテ伺ヒマ
ス、極ク簡單デアリマス、第十五條ノ主務
大臣ノ指定スル職業ノ職業紹介事業ニハ、
本法ヲ適用シナイトアリマスガ、其指定ス
ル職業ノ内容ヲ御明示アレバ御願シタイ、
ソレカラ附則第十七條ノ本法施行ノ期日
ノ凡ソノ取極メガアレバ承リタイ、第二十
一條ノ行政官廳ノ許可ヲ受ケテ、現ニヤッテ
居リマス民營ノ職業紹介事業ハ、命令ノ定
ムル所ニ依リ引續キ其事業ヲ行フコトヲ得
ト書イテアリマス、此命令ノ内容、以上三點
デアリマスガ、モウ一點、是ハ希望デアリ
マスガ、御考慮ヲ願ッテ置キマシテ、明日併
セテ御答辯ヲ願ヒマス、相續ラスル場合、
民間ノ職業紹介業ハ、是ハ一箇月以内ニ許

可ヲ申請スベシトアリマシテ、申請シナイ場合ニハエライコトニナリマスガ、一箇月ト云フコトハ——實際親ヲ失ツタ經驗ノナイ者ニハ分リマセヌガ、一箇月ハ直グ經ッテシマヒマス、私ハ父ヲ亡クシテ子ヲ亡クシテ大都會ニ住ンデ居ル者デアリマスガ、本當ニ一週間ノ間ハ附近ノ者ガ來テオ經ヲ上ゲテ呉レル、殆下自分ノ頭ガ何シタカドウカ分ラヌ中ニ、一月位ハ經ッテシマフノデス、斯ウ云フヤウナ先祖傳來ノ營業ニ對シテ、一箇月ト云フヤウナ短期ヲ定メテ置クト云フコトハ——實際父ノ服喪ハ三年ト云フコトヲ昔ノ人ハ教ヘテ居リマスガ、其處マデ行カナクテモ、是ハ人事ナラズ、父ヲ失ヒ母ヲ失ッテ悲哀ニ暮レテ居ル時ニ、一月ト云フモノハ直グ經ッテシマヒマス、私自分ノコトカラ考ヘテモサウデアリマスカラ、モウ少シ——一箇月ト延シテモ大シタコトデナイカラ、此點ダケハ御考慮ヲ願ッテ置イテ、明日デモ御答辯ヲ御願シタイ、以上三點ヲ御明示願ヘレバ結構デアリマス

シマスノデ、從來通り是ハ除外ヲ致シマシテ、他ノ方法ニ依リタイト思ッタノデアリマス、ソレカラ本法施行ノ期日デゴザイマシガ、是ハ大體本年七月一日カラ施行シタイ豫定ニ考ヘテ居リマス、尙ホ第三ノ第二十一條ノ相續ノ場合ノ命令デゴザイマスガ、是ハ目下準備ヲ致シテ居ルノデアリマス、非常ナ制限ヲ此命令ニ依ッテ書クコトハ、全然考ヘテ居ラナイノデアリマシテ、大體其人ノ人的ノ信用ガゴザイマスレバ、相續ニ依ッテ確保スルト云フ位ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ先程主務大臣ノ指定シマス職業ニ、酌婦ヲ落シテ居リマシタカラ、之ヲ加ヘテ申上ゲマス

○山本政府委員 先刻濱野委員カラ御尋ガアリマシテ、マダ答辯シテ居ラスコトガ一箇アリマスカラ、此際附加ヘテ答辯致シテ置キマス、兄弟親子ガヤルト云フヤウナ時分、ソレハ合名會社トシテ許シテ居リマスカラ、會社ガ存續スル限り「メンバー」ガ變リマシテモ、第二十一條ノ第一項デ營業ガ出來ルト云フコトニナリマス

○濱野委員 其點ハソレハ當然デアリマセウケレドモ、私ノ伺ヒマシタノハ、個人ノ者ガ——營業者ガ死ンデ兄弟ガヤルトカ、跡ヲ繼グト云フヤウナ場合ニ於ケル肉身ノ者ノ組合、會社、合資、合名、サウ云ツタコトデアリマス、是ハ御研究ヲ願ッテ、明日デ宜シウゴザイマス、ソレカラ先程資料ノ提供ヲ願ヒマシタガ、ソレニ關聯シテ御質問申上ゲル點ガアルカモ分リマセヌガ、本日私ハ是デ質疑ヲ保留シテ打切りマス

○北委員 只今濱野委員カラ伺ヒマシタ第十五條ノ「主務大臣ノ指定スル職業ノ職業紹介事業ニハ之ヲ適用セズ」是ハ藝妓、酌婦ト云フノデアルガ、其他ニ之ニ當ルヤウナ、有ッテモ無クテモ宜イヤウナ女ノ商賣ハ澤山アルト思ヒマスガ、是モ職業紹介所デ取扱ヒマスカ、具體的ニ申セバ「カフエ」ノ女給トカ、「ダンサー」トカ、色々サウ云フ種類ノモノガアルト思ヒマス、ソレ迄政府ガ御世話ナサルノデアリマスカ

○山崎政府委員 私ノ言葉ガ足りナカッタ爲ニ、誤解ヲ生ジタヤウニ思ヒマスノデ、申上ゲテ置キタイト思ヒマス、茲ニ申シマス「主務大臣ノ指定スル職業」ト云フノハ、先程申上ゲマシタ藝妓、酌婦及ビ之ニ類スル職業、斯ウ云フ風ニ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス

○北委員 ソレデ宜シウゴザイマス

○野口委員長代理 庄司一郎君

○庄司委員 我國ニ公式ノ紹介所ガ始ッテ

以來約三十年、今や全國ノ樞要ナル都市及ビ町村等ニ、七百ヲ超エル職業紹介所ガ設立セラレマシテ、消極的ニハ失業ノ救済、保護ノ爲ニ偉大ナル貢獻、役割ヲ演ゼラレマシタ、更ニ產業界ノ逐年ノ勃興ニ連レテ、即チ近代產業ノ特色トシテ、大資本ニ依ル事業經營ノ合理化ハ、其人的資源ノ採用ニ當リマシテ、適職選抜ヲ爲スヲ以テ、此資本主義的ナ選抜ニ洩レタル者ハ、勢ヒ他ニ適當ナル職業ヲ求メナケレバナラナイノデアリマス、サウ云フ場合ニ於テ、人的ニ或ハ社會政策的ニ、而モ最モ經濟的ナル機關ハ、公設ノ職業紹介所デアリマス、勞働市場デアル本機關ハ、產業界ニ對シテハ人的需給ノ調整ヲ爲スヲ以テ目的トシテ居ル、近代の施設デアルコトハ言フマデモゴザイマセヌ、失業者ニ取リマシテハ、是ハ職業ノ發見所デアリ、雇傭者ニアリマシテハ、人的資源ノ供給ヲ無料デ受ケル經濟的ナ機關デアルコトモ、今更申上ゲルマデモナイノデアリマス、換言スルナラバ、今や職業紹介所ハ單ナル從來ノ失業軍ノ求職所ノミデハゴザイマセヌデ、國家產業ノ——或ハ生産擴充ノ根幹ヲ成ス基本的ノ人的資源ノ開拓ニ、或ハ指導需要ノ重大役割ヲ果シテ居ル必須的ノ機關デアルト考ヘテ居ルノデ

アリマス、然ルニ今次ノ日支事變ニ直而シテ、各種ノ軍需工業、或ハ重工業、輕工業、造船其他一切ノ、目下極メテ重要性ヲ帶ビテ居リマス工場ニ於テハ、多數ノ應召兵モアリ、更ニ積極的ニ生産擴充ノ爲ニ、ヨリ多クノ人的資源ヲ要スル場合ニ於テ、職工ノ不足ハ何ト云ッテモ國家的ニハ困ツタ問題デアリマス、即チ職工ガ全國的ニ無イデハナイ、全國的ニ散在シテ居ル所ノ熟練職工等ハ相當居リマスケレドモ、之ヲ機械ニ動員スル機構ガ甚ダ不完全デアツタ爲ニ、素早く求人ガ行ヘ得ナカッタト云フヤウナ狀況ニアルコトモ、吾々ハ認メ得ルノデアリマス、是ニ於テカ厚生省ハ、現行制度ノ職業紹介所ノ機構ヲ更ニ改革シ、政府自ラガ公設ノ紹介所ヲ經營センコトヲ企圖サレマシテ、今次ノ職業紹介法ガ御提出ナサレタモノデアルト考ヘマス、私ハ職業紹介所ヲ國營化スルコトニハ、固ヨリ其趣旨ニ於テハ何等異存ハゴザイマセス、現時ノ貧弱ナル市町村ノ公設職業紹介所ノ御臺所の經濟ニ於テハ、思フヤウニ職業紹介ノ趣旨ヲ徹底サセルト云フコトハ、極メテ不可能ナ狀態ニ相成ツテ居ルノデアリマス、現在ノ市町村ノ職業紹介所ノ内容ヲ檢討スル時ニハ、其財政ニ於テ其内容ガ甚ダ貧弱デアリ

マス、又政府ガ企圖サレテ居リマス所ノ國庫補助金モ、總經費ノ六分ノ一ト云フヤウナ、極メテ貧弱ナ國庫補助金ガ計上サレテ居ルニ過ギナイト云フヤウナ現狀デゴザイマス、何トカシテ之ヲヨリ以上ニ改善ラシテ、特ニ此戰時體制下ニ於テ、又將來戰後ノ産業經濟等ニ於テ、眞ニ職業紹介所ヲ權威アラシメ、全國的ニ統制アリ、脈絡アリ、縦ニモ横ニモ連繫ノアル、理想的ナル紹介所ニ之ヲ改善シタイト云フ念慮ニ於テハ、私モ決シテ政府者ニ劣ラナイ者デアリマス、然ラバ政府ハ政府自ラガ主體トナラレテ、國營ノ紹介所ヲ設立サレントスルニ當リマシテ、先程政府御當局ノ御説明ハゴザイマシタケレドモ、今一度詳細ニ具體的ニ、如何ナル抱負ト經綸トヲ持タレテ、所期ノ目的ヲ達成サレントスルモノデアルカ、單ニ御提出ノ本法案中ニアリマスルガ如キ紹介所ニ配スルニ、一二ノ聯絡委員ヲ特置スルト云フヤウナコトヲ以テ、或ハ此中央地方ニ職業紹介委員會ナルモノヲ設置スルト云フヤウナコトヲ以テ、能事終レリトスルモノデアルカドウカト云フコトヲ、第一ニ御伺ヲ致シマス

○山崎政府委員 今回提案致シマシタ職業紹介法ノ根本趣旨ニ付キマシテハ、先程濱野サンニ御答申上ゲマシタコトニ依ッテ、大體御諒承ヲ得タコトト思フノデアリマス、政府管掌ノ職業紹介事業ノ運営ニ付キマシテハ、此法文ニ明記致シテ居リマスルヤウニ、勞務ノ適正ナ配置ヲ圖ルコトニ重點ヲ置イテ居ル譯デアリマス、此意味ニ於キマシテ、第一ニハ政府ノ職業紹介事業ニ於キマスル活動ガ、國家ノ遂行セントシテ居リマス國防、産業、社會等ノ各種政策ニ順應スルコトガ第一義デアルト考ヘマス、例ヲ取ツテ申シマスナラバ、現下ノ時局ニ鑑ミマシテ、軍需勞務ノ充足ノ如キ、非常ニ國家ノ目的上カラ緊要ナ事態ニ相成ツテ居リマシテ、是等ハ今回ノ國營職業紹介所ニ依リマシテ、一層ノ圓滑ナル運営ヲ圖リタイト存ズルノデアリマス、更ニ又戰傷者ノ就職斡旋ノ如キ、現下ノ事態ニ即應シマシテ、出來ルダケ迅速ニ、優先的ニ斡旋ガ出來マシヤウニ、此機會ニ於テ措置ヲ講ジタイト存ジテ居ルノデアリマス、運営ノ第一ノ點ハ、政府ノ職業紹介事業ニ於キマスル活動ガ求人者ニ對シマシテ、最も適當ナ人ヲ配置スルト云フコトニ目標ヲ置イテ居ルノデゴザイマス、此點ハ多年御經驗ノゴザイマス庄司サンハ能ク御存ジノ點デアルト考ヘマス、第三點ハ、政府ノ職業紹介事業ニ於キマシ

テハ、出來ルダケ勞務ノ需要ト供給トヲ圓滑ニ結合セシムルト云フコトニ目標ヲ置イテ居ルノデゴザイマス、斯ウ云フ風ナ非常ニ重大ナ目標デアリ、又使命ヲ持ツテ居リマス、今回ノ國營ノ職業紹介所ノ運営ノ實際ヲドウスルカト云フコトガ、只今ノ御尋ノ趣旨ノヤウニ存ジマス、此點ニ付キマシテハ、只今モ御話ノゴザイマシタヤウニ、本法ノ中ニ規定シテ居リマスル構成ト致シマシテハ、全國ニ四百ノ職業紹介所ヲ、大體人口ノ分布ニ應ジマシテ、適當ニ配置ヲ致スコトガ第一段デゴザイマス、更ニ其手足ト致シマシテ、市町村長ナリ或ハ聯絡員等ヲ設ケマシテ、眞ニ全國的ニ職業紹介所ノ網ヲ張りタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、又更ニ其職業紹介所ノ運営ニ付キマシテハ、只今モ御話ノゴザイマシタヤウニ、中央地方ニ職業紹介委員會ヲ設ケマシテ、中央ニ於キマシテハ厚生大臣ノ管理ノ下ニ、又地方ニ於キマシテハ地方長官ノ管理ノ下ニ、ソレゾレ各縣ニ職業紹介委員會ヲ置キマシテ、將來是ガ圓滑ナ運営ニ資シテ行キタイト存ジテ居ル次第デアリマス、尤モ此法律ノ運営ノ中心ハ、無論四百ノ職業紹介所ニアルノデアリマスガ、行政ノ——何ト申シマスカ、此職業行政ノ中心ハ、申ス迄モナク中

央ニ於テハ厚生大臣、地方ニ於キマシテハ地方長官ガ之ニ當ルノデゴザイマス、地方長官ヲ中心ト致シマシテ、現業機關トシテ四百ノ職業紹介所ガ之ニ屬シマシテ、將來是ガ運営ニ當ルコトニ相成ルノデゴザイマス、地方中央ノ機構ニ付キマシテモ、目下關係當局ト種々折衝シテ居リマシテ、十三年度ノ追加豫算ニ於キマシテ、其經費ヲ御協賛ヲ仰グ豫定ニ相成ッテ居ル次第デゴザイマス、相當ノ機構ヲ設ケマシテ、完全ナル運営ヲ圖ッテ行キタイト存ジマス

○庄司委員 只今ノ御答辯ニ依ッテ稍、諒承致シマシタガ、本法案ハ職業行政ニ於ケル一ツノ革新的ナ政策ノ現レデアルト本員ハ考ヘテ居リマス、然ルニ過般本法案ガ第一讀會ニ付議サレマシタ場合ニ於テ、吾々ノ同僚社會大衆黨所屬川村議員ノ質問ニ對シ、厚生大臣ハ同君ノ御質問ニ答ヘラレテ、求職者ニ對シテ、就職労働者ヲシテ出來得ル限リ最善ノ、優良ナル就職條件ヲ以テ就職セシメタイ、或ハ就職後ニ於テモ、出來ルダケ就職者ノ將來ニ幸福ニナルヤウニ、積極的ニ溫イ手ヲ延ベテヤリタイト云フヤウナ、要スルニ労働者ノ保護助成ノ御精神カラ御答辯ニナッテ居ラレマス、更ニ厚生大臣ハ、本法案ハ職業紹介所ノ職能ト云ヒマスカ、

ソレハ單ニ職業ノ需給關係ニ於テ、御紹介ヲスル範圍内ノ職能デアッテ、就職條件ハ兩當事者間ニ於テ、ソレハ自由契約デアルト云フヤウナ意味ヲ高唱サレテ居リマシタコトハ、甚ダ遺憾ト考ヘテ居リマス、雇傭關係ノ當初ニ於テ、就職労働者ノ將來ヲ出來ルダケ見透シテ、ヨリ良キ就職條件ト云フモノヲ契約シテ置キマセヌ場合ニ於テハ、其労働者ノ、或ハ工場ニ働ク所ノ一切ノ產業界ノ將來ト云フモノハ、甚ダ不安ナルモノデアリマス、ソコデ現在國營ニナッテ居リマセヌケレドモ、地方ニ散在シテ居リマス所ノ職業紹介所長或ハ職員ハ、出來ルダケ地方ノ青年ノ就職條件ヲ宜ク、即チ賃銀ニ於テ、或ハ労働時間ニ於テ、或ハ休養、或ハ衛生醫療、其他一切ノ就職條件ニ於テ、ヨリ良キ所ノ工場ニ對シテ、就職ヲ希望スル青年ヲ御斡旋シテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマシテ、是ハ人ヲ御世話スル者ハ、獨リ職業紹介所ノ職員ノミナラズ、結婚ニ於ケル媒介者モ其通りデアリマス、御世話ヲスル者ノ、其客體ノ將來ガ幸福デアレカシト祈ルコトハ、極メテ妥當ナル親心デアアル、殊ニ職業紹介所長ノ如キ、或ハ職員ノ如キハ、溫イ理解ヲ以テ、或ハ同情ヲ以テ、惻隱ノ情ヲ以テ、農村ヲ捨テテ都會ノ工場地帯ニ

入ルト云フヤウナ、悲壯ナ決心ヲ持ッテ居ル者ニ對シテハ、ヨリ宜キ就職條件ト云フモノヲ發見シテ戴カナケレバナライ、左様ナ信念デヤッテ居リマスガ、何カ過般川村議員ノ御質問ヲ穿キ違ヘテ御聽取ニナラレタカドウカ分リマセヌガ、厚生大臣ノ御答ハ、何等干涉ガマシイ態度ヲ執ラヌト云フヤウナ御言葉デ現レテ居ッタヤウデアリマスガ、其雇傭關係ノ當初ノ場合ニ於テ、何等此職業紹介所ガ職能ノナイ、否、權威ノナイ、全ク當事者間ニ於ケル自由契約デアルト云フヤウナコトヲ仰シヤッタト云フコトハ、私ハ法文ノ上ニ於テハ兎ニモ角ニモ、人ノ職ヲ世話スル所ノ人間トシテハ、出來ルダケ最善ノ條件デ御世話シタイト云フ信念ヲ、全國的ニ職業紹介所ガ國營ニナリマスレバ、尙ホ一層ノコト、サウ云フ信念ヲ把持シテ御世話シナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマスガ、大變大臣ノ御答ハ、ソコガ不明瞭ノヤウニ本員ニハ聽カレマシタ、是モ只今御即答ハ要求致シマセヌカラ、明日デモ今一度改メテ私ハ責任アル御回答ヲ伺ッテ置キタイト考ヘマスノデ、能ク御話下サイマシテ、尙ホアノ際ニ於ケル本會議ノ速記録ヲ御覽ノ上デ、是ハ職業紹介ニ對スル、將來厚生省ノ大キナ指導精神ニ關スル問題

デアリマスカラ、御答辯ヲ願ヒタイト思フ次第デアリマス、ソコデ例ヘバ五十名以上ノ労働者ヲ使用シテ居ル工場ガ、全國ニ四千七百アルト云フ場合ニ於テ、其中ニハ酷イ不良工場ガ相當アルノデアリマス、職業紹介所ニ頼ンデ來ル場合ニハ、大變立派ナ條件デ、三色版ノ「ポスター」ヲ見マス、如何ニモ地方農村ノ青年ナドハ、此工場ニ行ッテ働キタイト云フ氣分ニナル、例ヘバ月給ハ五十圓トカ、日給ナラバ熟練工デナクテモ一圓半與ヘルトカ云フヤウナ、好條件ヲ「ポスター」ニ書イテ居リマス、ソレデ其處ニ青年ヲ御世話シタ場合、其條件ハ全ク裏切ラレタト云フヤウナ狀況モ極メテ多イノデアリマス、甚ダ榮養「カロリー」ノ少イ食物ヲ與ヘ、或ハ休養時間ガナイ、或ハ深夜業ヲサセル、或ハ作業ノ時間ガ非常ニ多イ、斯ウ云フヤウナ労働者ニ取ッテ極メテ條件ノ惡イ所ノ工場主、或ハ産業資本家ガ、農村出ノ青年労働者ニ對シテ、血モ涙モナイヤリ方ヲヤッテ居ル工場ガ相當多イノデアリマシテ、サウ云フ青年ガ遂ニ肺結核ニ罹リ、其他職業上ヨリ發生スル所ノ職業疾患ニ罹ッテ、郷里ニ歸ッテ來テ、サウシテ地方ノ職業紹介所長ニ懇ヘル所ハ、眞ニ言々句々血ノ涙デアリマス、實ニ悲慘ナ狀態ガ

現レテ居ル、或ハ肋膜ニ罹リ、或ハ肺結核ノ第一期ト云フヤウナコトニナレバ、早クモ責任逃レノ爲ニ、其者ヲ農村ニ返スト云フヤウナ不良工場モ多イノデアリマスカラ、斯ウ云フ點ニ付テ厚生省ハ平素能ク調査ヲサレテ、將來紹介所ガ國營ニナリマシタ場合ニ於テハ、左様ナ不良工場ニ對シテハ適當ノ方法ヲ以テ、全國ノ職業紹介所ニ速ニサウ云フ不良工場ノ名稱ヲ發表サレテ、サウ云フ所ニハ絶對ニ農村ノ純朴ナ青年等ヲ紹介シナイト云フヤウナ方法ヲ御採リニナル御計畫ガアルカドウカ、私考ヘテ居リマスコトハ、公設ノ職業紹介所ガ出來ナイ前ハ、労働者ノ募集人ト云フモノガ地方長官ノ認可ヲ取りマシテ、例ヘバ宮城縣ナラ宮城縣カラ、千人ナラ千人ノ労働者ヲ募集スル、サウ云フコトガ長イ間行ハレテ居リマシタ、サウ云フ場合ニ於テハ、一人ノ労働者ヲ募集スルニ、五十圓或ハ八十圓ノ募集費ガ掛ツタノデアリマス、所ガ現在ハソレガ掛ラナイ、紹介所ノオ蔭ヲ以テ、無料デ以テ労働者ヲ雇入レルコトガ出來ル、私ハ今之ニ關スル統計ヲ持ッテ居リマセヌガ、之ニ付テ全國ノ産業資本家或ハ工場主等ガ、労働者ヲ募集スル爲メノ經費ノ節約ト云フモノハ、恐ラク何千何百萬圓デアルカ分ラナ

イト考ヘマス、果シテ然リトスルナラバ、工場ニ於テ或ハ寄宿舎ニ於テ、労働者ノ待遇ヲ改善スル、或ハ福祉的ナ方面ニ於ケル施設ヲ層一層充實ヲシテ、産業人ガ病氣ニ罹ラナイヤウニ、或ハ榮養不良、或ハ神經衰弱等ニ陥ラナイヤウニ、健全ナル肉體ヲ以テ、明朗ナル精神ヲ以テ労働ニ従事、向上シテ行クコトガ出來ルヤウナ待遇ヲスルノガ、極メテ妥當デアルト考ヘテ居リマスガ、サウ云フ點ニ關シテ御當局ハ、如何ナル御考ヲ御持チニナッテ居ルカドウカ、此一點ヲ伺ッテ置キマス

上カラ、又産業ノ發展ノ上カラ、資本家ノ利益ヲ保護スル上カラモ、出來ルダケ労働ノ改善ニ關シテ労働局デ努力シテ居リマス、先刻御話ノ大臣ノ答辯ハ、私モ其席ニ居リマシタガ、ドウモ場所ガ離レテ居ル爲ニ、能ク聴取レナカッタノデアリマスケレドモ、ソレハ何レ速記録ヲ見タ上デ、大臣カラ御答辯ヲシテ戴クコトニ致シマス、大體職業紹介ノ仕事ト、其労働者ヲ雇入レルト云フコトトノ間ニハ、多少區別シテ考ヘナケレバナラスダラウト思ヒマス、其區別ハ職ヲ求ムル人ト、人ヲ求ムル人トノ間ニ、其仲介者ニナッテ五ニ希望ハ聴イテ見マスガ、偕テ一タビ其條件ノ具體的ノ問題ニ——或ル程度マデハ宜イカモ知レマセヌガ、ソレ以上深嵌マリスルコトモ如何ナモノデアラウカ、其點ニ付テハ當然此紹介事業ノ目的ノ上カラ云フト、自ラ限度ガアルダラウト思ヒマス、併シ限度ガアルカラト云ッテ、不親切ニ唯單ニ口入ガアツタカラ、五ニ其求ムル者ト、求メラレル者ト、クツキ合セサヘスレバ宜イト云フ程、冷淡デハナイノデアリマスガ、之ニ付テハ指導機關、又補導機關ニ依ッテ、適當ニ此兩者ノ間ニ五ニ條件ヲ守ルヤウニ、就職ヲシタ者ヲシテ安ンジテ就業セシメ、求メタ者ニ對シテハ、安ンジテ

其就業者ヲ待遇スルト云フコトニシタイノデアリマスケレドモ、此限界ハ餘程ムヅカシイダラウト思ヒマス、併シ實情ニ通ジテ居ル庄司サンノ段々ノ御話デアリマスカラ、私モ出來得ルダケハ、法律ノ範圍權限ヲ超エナイ程度ニ於テハ、左様ナ方面モ相當考慮ヲ拂ッテ、改善シテ行カナケレバナラスト考ヘマスシ、又宣傳ニ惑ハサレテ入ッタ青年労働者ナドノ、其後ノ工場生活ノ悲惨ナルコトニ付テハ、洵ニ憂フベキコトデアリマスカラ、是ハ厚生省トシテハ労働局ヲ通ジテ、其不良ナ工場ニ對シ相當ナ取締ヲスルト云フコトモ必要デアラウト、斯様ニ考ヘテ居リマス、大臣ノ御答辯ハ、何レカノ機會ニ於テ申上ゲルコトニ致シマス

○庄司委員 近時國民精神總動員ノ風潮ハ、全國一般ノ産業人、労働者社會ニ、最も心理的ニ濃厚ニ浸潤致シマシテ、勤勞報國或ハ勞働報國、或ハ産業協力ト云フヤウナ洵ニ麗ハシイ傾向ニナッタコトハ、オ互國家ノ爲ニ慶賀ニ堪ヘマセヌ、然ルニ産業資本家或ハ工場主ノ一部ノ者ノ間ニハ、此労働者ノ愛國のナ精神、勤勞報國ノ精神ヲ逆用シマシテ、労働者ニ對シテ極端ナ勞働時間ノ高度化、或ハ少年工、或ハ十八歳以下ノ女工、即チ保護職工デアル婦女子等ニ、深

夜業或ハ殘業等ヲ強ヒテ居ルト云フ傾向ガ決シテ少クナイヤウナ情勢ニアリマス、又物價騰貴ト云フ關係モゴザイマセウガ、工場ノ中ニハ甚ダ榮養「カローリ」ヲ持ッテ居

態、殊ニ肺結核或ハ胸膜炎ト云フヤウナ、恐ルベキ病氣ニ關スル統計等ガゴザイマシタナラバ、本案審議ノ參考上交付シテ戴キタイト云フコトヲ要望致シマシテ、政府ノ御答辯ヲ煩ハシテ置キマス

○工務政府委員 勞働界ノ左様ナ悲慘ナ事

情ハ私共モ屢、耳ニ致シマシタ、御話ノ如ク名ヲ軍需産業ニ藉リテ、過當、不當ナル勞働ヲ強制シテ居ルト云フコトモ、屢、耳ニスル所デアツテ、又本院ニ於テモ度々ソレハ問題ニサレテ居ルノデアリマス、隨テ厚生省ノ當局ト致シマシテハ、是ハ主トシテ勞働局デヤツテ居リマシテ、此法案ヲ審議スル係トハ違ヒマスケレドモ、無論厚生省ノコトデアルカラ御答致シマスガ、地方或ハ中央ニ於ケル當該官吏ヲ鞭撻シテ、出來ルダケ左様ナ事情モ調査ラセシメマシテ、而シテ法律命令ノ定ムル所ニ依ッテ、雇主ヲシテソレ等ノ勞働條件ヲ宜クシテ、生活ヲ改善セシムルヤウニ努力致シテ居リマス、御要求ノ資料モ、出來得ルダケ此審議期間内ニ於テ御手許ニ差上ゲルコトニ致シマス、又必要ガアリマスレバ、勞働行政ノ當局者ニ出席シテ貰ヒマシテ、御答致スコトニ致シマス

○工務政府委員 勞働界ノ左様ナ悲慘ナ事情ハ私共モ屢、耳ニ致シマシタ、御話ノ如ク名ヲ軍需産業ニ藉リテ、過當、不當ナル勞働ヲ強制シテ居ルト云フコトモ、屢、耳ニスル所デアツテ、又本院ニ於テモ度々ソレハ問題ニサレテ居ルノデアリマス、隨テ厚生省ノ當局ト致シマシテハ、是ハ主トシテ勞働局デヤツテ居リマシテ、此法案ヲ審議スル係トハ違ヒマスケレドモ、無論厚生省ノコトデアルカラ御答致シマスガ、地方或ハ中央ニ於ケル當該官吏ヲ鞭撻シテ、出來ルダケ左様ナ事情モ調査ラセシメマシテ、而シテ法律命令ノ定ムル所ニ依ッテ、雇主ヲシテソレ等ノ勞働條件ヲ宜クシテ、生活ヲ改善セシムルヤウニ努力致シテ居リマス、御要求ノ資料モ、出來得ルダケ此審議期間内ニ於テ御手許ニ差上ゲルコトニ致シマス、又必要ガアリマスレバ、勞働行政ノ當局者ニ出席シテ貰ヒマシテ、御答致スコトニ致シマス

○庄司委員 第三ハ、職業紹介所ノ使命ハ、

職業紹介至上主義デハ絕對ニナイト云フ理論ヲ、當局ハ把握サレテ居ルカドウカト云フ質問デアリマス、私ハ多年職業紹介所長ヲヤツテ居ルノデアリマシテ、私ノ質問ハ少クトモ眞剣ナ自己ノ尊イ體驗カラ出發シタ所ノ質問デアリマス、故ニ總論的ニ、或ハ概論的ニ、直接此方面ニ觸レテ居ナイ質問ヲ申上ゲル虞ガアルカモ知レマセヌケレドモ、少クモ専門家ノ言論ハ傾聴スベキモノデアルト考ヘテ居リマス、其意味カラ敢テ此質問ヲ致シマス、職業紹介所ノ使命ハ、決シテ職業紹介至上主義デハナイデハナ

只今拓務省ハ滿洲國ニ二十萬戸、百萬人ノ移住民ノ計畫ガアル、或ハ青少年移民ノ計畫ガアル、或ハ南米「ブラジル」等ニ對シテモ、年々多少ノ移民ガ行ハレテ居ル、或ハ今次ノ事變ニ於テハ馬匹ノ徵發、或ハ應召等々ノ關係ニ於テ、農漁山村ト云フモノハ、非常ニ此勞働力ト云フモノガ涸渴シテ居ル、現ニ地方農漁山村等ニ於テハ、來ルベキ田植ノ場合ニ於テ、或ハ春蠶ノ場合ニ於テ、ドウシテ此勞働力ヲ補給スルカト云フ問題ニ、目下苦慮致シテ居ル眞最中デアリマス、唯徒ニ求人ガアルカラ、青年ヲ説得シテ之ヲ紹介スレバ宜イノデアルト云フヤウナ、此職業紹介至上主義ト云フモノニ陷ッテハナラナイ、墮シテハナラナイト云フコトヲ、能ク御考置キラ願ヒマセヌト云フト、農村ノ勞働力ト云フモノガ非常ニ拂底シ、激減ヲ致シマシテ、所謂陶淵明デナクトモ、「田園將ニ蕪セントス、胡ンゾ歸ラザル」ト云フヤウナ句ヲ、想起セザルヲ得ナイヤウナ状態ニナルノデアリマス、此事ハ御承知ノ如ク、英國ニ於テモ過去百年ノ間嘗メタ所ノ苦シミデアリマス、「マンチエスター」ノ工場地帯ニ於テ、英國ガ「マーカンチリズム」ノ下ニ商工業ノ勃興ト云フコトヲ促進シタ爲ニ、農村ノ人口ト云フモノハ、全國

人口ノ五分ニシカ該當シナイ、農村民ハ徹底のニ潤渴シテ、食糧品ノ八割ハ外國カラ輸入シナケレバナライト云フヤウナ状態ニ陥ツタ、職業紹介所ト云フモノト農村ノ關係ト云フモノハ、餘程之ヲ調整シテ行カナケレバナライト云フコトヲ、萬々一御忘レニナラレマシタ場合ニ於テハ、是ハ國家ノ爲ニモ非常ニ憂慮スベキ重大問題デアル、此事ヲ決シテ厚生省ノ大官諸公ハ御忘レニナツテハナライ重大問題デアル、今日求人ガ一万人アルカラ、一万人ノ頭數ヲ揃ヘテヤレバ宜イト云フダケノ觀念ニ囚ハレテハイケナイノデアル、斯ウ云フヤウナコトヲ、自分ノ尊イ體驗ノ上カラ考ヘテ居リマスルガ、當局ハドウ考ヘテ居リマスカ、御答辯ヲ願ヒマス

○工藤政府委員 御體驗ニ基イタ尊イ御話ハ、洵ニ傾聴致シマシタ、職業紹介所ノ指導精神トシテハ、御話ノヤウニ唯統計ノ數字ニ、是ダケ現レタト云フノヲ以テ満足スルト云フコトハ、是ハ形式的ナ仕事デアツテ、精神ハソコニハナイノデアリマス、今日マデハ公益事業ト公共團體ニ依ツテヤツテ居リマシタガ、之ヲ國營ニシテ、更生主義ト申シマセウカ、更生精神ト申シマセウカ、嘗テ同僚ノ濱野徹太郎君ガ、本會議ニ於テ

總理大臣ニ質問シタコトガアリマシタガ、新ニ出來タ厚生省ノ指導精神ハ何ダト聞イタ時ニ、總理大臣答ヘテ曰ク、ソレハ慈愛ト愛敬ノ念ヲ以テ指導精神ニスルト云フ、濱野君ノ御意見ノ通りデアルト答ヘマシタ、即チ其意味ニ於テ、自分ノ生活ノ資源ヲ得ル職業ノ無イ人ニ對シテハ、偏ニ慈愛ノ念ヲ以テ紹介シテ行カナケレバナラス、而シテ之ヲ紹介スルコト其コトダケガ能事デナイノデアツテ、如何ニシタナラバ適材ヲ適所ニ充テ、求ムル者モ求メラレル者モ、シツクリ合フヤウナ工合ニ工夫スルノガ、即チ此指導精神デナケレバナラスト思フノデアリマス、故ニ單ナル數字、或ハ之ヲ紹介シテ斯ウ埋合ハシテサヘヤレバ、後ハ宜シイト云フ譯ニモ行カス、ソレ以上更ニ一步踏入ッタ労働條件ニマデ入ルト云フヤウナコトハ、是ハ又労働監督官モアルコトデアリマスカラ、自ラ限度ガアルト思ヒマス、デアリマスカラ、仰セノ如ク唯單ニ紹介シタバカリデナク、職業紹介所ガ國營ニナツテ、紹介シタ其紹介者モ、或ハ求人者モ、共ニ満足シテ居ルヤ否ヤト云フコトノ調査ハ、極メテ大事ナコトデアリマスカラ、單ナル統計ノ上ニ多クノ數字ヲ現シタモノヲ以テ、是ハ能事デアルト云フ風ニハ政府ハ考ヘテ居リ

マセヌカラ、此法案ノ施行ニ伴ウテ、從來ニ於ケル所ノ情弊ハ全ク一掃シテ、所謂更生精神ヲ大ニ發揮シテ、其方面ニ努力シタイ、而シテ全國的ニ或ハ過剰ナル、或ハ過少ナル所ノ勞務ヲ調節シテ、一時ハ地方的ニ限ラレテ居リマシタガ、之ヲ全國的ニ大乘的ニ見テ適材ヲ適所ニ廣イ範圍ニ於テ配合シテ行クト云フ精神デアリマスカラ、體驗ノ深い庄司君ノ御經驗談ニ對シマシテハ、深キ敬意ヲ持ツテ私ハ拜聴致シマシテ、今後左様ナ方面ニ善處致シタイト思ヒマス

○庄司委員 第三條ノ職業紹介所ノ職業指導ニ對シテハ、如何ナル具體的ノ政策ヲ持ツテオ居デニナルノデアリマスカ、小學校ノ兒童或ハ高等小學、或ハ青年學校等ノ生徒ニ對シテ、職業ノ御指導ヲサレルト思ヒマスガ、現在モ職業指導員ト云フ者ガ、各府縣ノ社會課ニ居リマシテヤツテ居リマスガ、其ヤリ方ガ兒童或ハ生徒ノ純真ナル魂ヲ甚ダ傷ツケテ居ル、ソコデ私ハ如何ナル方法、ドウ云フ手段デ職業指導ノ有終ノ美ヲ舉ゲル御考デアアルカト云フコトヲ、第三條ニ於テ御伺フスルノデアリマス、只今ノ弊害ハ、一方ニ於テハ中等學校以上ニ進學スル所ノ兒童ト、工場ニ働ク所ノ子供ヲ別々ニ區別シテ、サウシテ

「デスト」ヲヤツタリ、性能ノ調査ヲヤツタリシテ、色々ナ方法デ職業指導ヲヤツテ居リマス、デアリマスカラ、中等學校ニ入り得ナイ所ノ兒童ノ純真ナル魂ガ、少年時代ニ於テ非常ニ環境上ノ悲哀ヲ感ジ、或ハ嫉妬ノ觀念ニ囚ハレマシテ、子供ノ純真ナル魂ガイデケテ居ル、サウ云フ傾向ヲ教育的方面ヨリ發見シテ悲シデ居リマスカラ、當局ハ此三條ニ依ツテ、如何ナル職業指導ヲ行ハントスルノデアアルカト云フ、其方法論ヲ參考ノ爲ニ伺ヒマス

○齋藤委員 委員長議事進行ニ付テ……

○野口委員長代理 齋藤君

○齋藤委員 委員長ニ一寸御尋致シタイ、關聯質問ヲ委員長ハ許ス考デアリマスカ

○野口委員長代理 勿論許ス考デス

○齋藤委員 庄司君ガ今質問シテ居ルコトニ付テ關聯シテ質問スルト、議事ノ進行ニ

大分都合ガ好イヤウニ思ヒマスカラ、庄司君ノ質問ガモウ少シ吾々ノ間ハントスル所ニ觸レテ貰ヒタイト云フヤウナ所モアリ、サウ云フヤウナ場合ニハ、關聯質問ガ適當ダト思ヒマスガ、私ニ一回質問ヲ要求シタケレドモ、御許ガナカッタ、是ハ御許ニナル方ガ宜イト思ヒマス

○野口委員長代理 承知致シマシタ、齋藤

君ニ關聯ノ質問ヲ許シマス——齋藤君

○齋藤委員 イヤ一寸時機ガ過ギマシタカラ……

○野口委員長代理 ソレデハ山崎政府委員

○山崎政府委員 職業指導ニ付テノ御尋デ

ゴザイマスカラ、私カラ御答ヲ申上ゲタイ
ト思ヒマス、職業指導ノ現在ノ方法ニ付キ
マシテハ、庄司サンハ御體驗ニ基キマシテ
十分御存ジノコトデゴザイマスカラ、諄々

シク申上ゲルコトハ差控ヘタイト存ジマス、
御承知ノ通りニ現在ニ於キマシテモ、一面

ニ於キマシテハ小學校其他ノ學校ニ於キマ
シテ、本人ノ環境ナリ或ハ個性ナリ、其他

諸般ノ社會的、經濟的ノ事情ヲ十分ニ考慮
致シマシテ、適當ナ職業ヘノ指導竝ニ紹介

ヲ爲スヤウナコトニ相成ッテ居ルノデアリ
マス、尙ホ職業紹介所ニ於キマシテハ、學

校方面ト十分ノ連絡ヲ取りマシテ、學校方
面カラ色々調査ヲサレマシタモノニ基キマ

シテ、適當ナ職業ニ就キマスヤウニ、或ハ
就職ノ斡旋、或又ハ更ニ進ンデ就職後ノ色々
ナ世話マデモ、職業紹介所ニ於テヤッテ居
ルヤウナ狀況デアリマス、將來國營職業紹

居リマスヤウナ方法ヲ踏襲致シタイト考ヘ

テ居ルノデアリマス、唯遺憾ナガラ現在ノ
職業紹介所ノ機構ガ、御承知ノ通りニ極メ

テ貧弱デゴザイマシテ、殊ニ農村ニ於キマ
スル職業紹介所ノ如キハ、御手許ニ配付致

シマシタ資料ニ依ッテモ分リマスヤウニ、極
メテ其職員ナリ或ハ經費等ニ付キマシテモ、

十分ノ機能ヲ發揮スルコトガ出來ナイヤウ
ナ狀況ニ相成ッテ居ルノデアリマス、隨ヒマ

シテ現在ト致シマシテハ、中々職業指導或
ハ職業輔導ト云フヤウナ點マデ、職業紹介

所ガ踏出シテ參リマスコトハ、極メテ困難
ナ實情ニ相成ッテ居ルノデゴザイマス、今

回幸ニ此法案ガ御協賛ヲ得マスレバ、全國
四百箇所ノ職業紹介所ハ、現在ノ機構ニ比

ベマスレバ、相當擴充致シマシタ機構ニ相
成ルノデアリマス

〔野口委員長代理退席、委員長著席〕
大キイ都市等ノ職業紹介所ニハ、此方面ノ
専門ノ職員等モ置キマシテ、從來非常ニ不

ウニ心掛ケテ參リタイト存ジテ居リマス次

第デアリマス
○庄司委員 昭和九年東北冷害ノ際ニ於テ

身賣防止ノ資金ノ貸付ガ行ハレテ參リマシ
タガ、將來厚生省ハ職業紹介所ヲ通シテ、

身賣防止資金ノ貸付ト云フヤウナコトハ、
相變ラズオヤリニナルモノデアルカドウカ、

參考ノ爲ニ御伺申上ゲマス、ソレカラモウ
一點デ私ノ質問ハ終リマス、法案第七條ノ

初年度ニ於テ厚生省ハ約六百萬圓ノ國費ヲ
以テ、其中國ガ三百七十六萬圓、地方ニ對

シテハ二百二十五萬圓ノ負擔金ヲ、道府縣
或ハ市町村ノ一部ニ負擔ラセシムルト云フ

ヤウナコトヲ聞イテ居リマスガ、其通りデ
アルカドウカ、此二點ヲ伺ッテ置キマス

○山崎政府委員 昭和九年來、東北地方ニ
身賣防止資金ノ貸付ヲ實行致シテ居リマス

ルガ、是ハ現在ノ範圍ニ於キマシテ、將來
モ續ケテ參リタイト考ヘテ居リマス、第二

擔セシムルコトガ出來ル立前ニ考ヘテ居ル

ノデアリマス、市町村ノ範圍等ニ付キマシ
テハ、勅令ノ規定ヲ致シマスル場合ニ、十

分ニ考究ヲ致シマシテ決定ヲ致シタイト存
ジテ居リマス

○庄司委員 私ノ質問ハ一先ヅ之ヲ以テ終
リマス

○服部委員長 齋藤君
○齋藤委員 私ハ勅令ノ案ヲ拜見致シマシ

テ、其結果ニ依ッテ御質問ヲ致シタイト考ヘ
テ居ッタノデアリマス、其先ニ二三御尋ヲ致

シタイト思ヒマス、今回職業紹介法改正
法律案ヲ御提案ニナリマシタコトハ、吾々

多年要望致シテ居ッタモノガ、茲ニ實現ヲ致
シタノデアリマシテ、此點ニ付テハ洵ニ政

府當局ノ御努力ニ感謝ヲ致スノデアリマス、
緒テ第一條ノ政府ハ勞務ノ適正ナル配置ヲ

圖ル爲本法ニ依リ職業紹介事業ヲ管掌ス、
斯ウ云フ第一條ノ規定ニ觸レテ御尋ヲ致シ

考ヲ持ッテ居ラレルカ、是ハ恐ラク各種ノ産業部門ニ互ッテ餘程廣汎ナコトデアリマスカラ、或ハ中ニハ秘密ニ屬スルヤウナコトモアラウト思ヒマススケレドモ、是ハ本法ノ精神ガ玆ニ籠ッテ居ルヤウニ思フ、ドウカ是ハ出來ルダケ此際御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○工藤政府委員 全國的ニ考ヘマシテ、勞務ハ凸凹ガアルト云フコトハ、此法案ヲ提出スル一ツノ理由デアリマシテ、從來ハ地方ノ公共團體ガ經營シ來ツタ事業ヲ、國家ハ全國的ニ統制ヲ保ッテ、其過不及ノナイヤウニシタイト云フノガ、此法律ノ目的デアリマスガ、偕テ之ヲ小別ケシテ見マシテ、例ヘバ大體ニ九州ハドウデアルカ、四國ハドウデアルカ、懸離レテ北海道、東北ハドウダト云フコトニナリマス、産業ノ種類ト形ニ依ッテ、所謂勞働者ト云フ方面カラ見マスト、餘程事業ハ違ッテ來ルダラト思ヒマス、又九州アタリニ致シマシテモ、長崎附近デハ勞働力ハ非常ニ足りナクナッテ居ル、ドウ云フ爲メデアアルカト云フト、上海ニ多ク勞働者ガ行クカラデアアル、九州ハ炭鑛ガ盛ニナツタカラ、炭鑛勞働者ガ澤山ニナッテ居ル、マア全國的ニ見マスト、軍需關係ニ依ッテ相當厚薄モアリ、或ハ偏狹、偏傾ニナッテ居ル

ダラウト思ヒマス、是ハヤハリ此提案ヲスルニ當ッテ、刺戟サレタ一ツノ理由ニナッテ居ルノデアリマス、詳シイ調査ハ實ハ今用意致シテ居リマセスカラ、斯ウ云フモノト云フコトノ御考ガアリマスレバ、ソレヲ一ツ基礎ニシテ御質問ヲ願ヒマスレバ、適切ナル御答辯モ申サレルノデハナйкаト考ヘテ居リマス

○齋藤委員 實ハ具體的ナコトヲ申上ゲデモ、中々厚生省デモ御取扱ガ困難ダト思ヒマスガ、例ヘバ吾々ノ府縣ノ纖維工業ノ女工ノ如キ、又京都ノ西陣織ノ女工ノ如キ、サウ云フ者ハ只今恐ラク大概失業シテ居リマス——大概ト申シテハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、大半ハ失業シテ居ルモノト見テ差支ナイノデアリマス、サウ云フ者ニ付テ、此職業紹介ノ範圍ガドレ程マデ及ブモノデアルカ、或ハ他ノ地方カラ何千人、或ハ何百人ノ女工ヲ必要トスル、ソレヲ狩集メテ送ルト云フコトヲ斡旋スルダケデア

カ、具體的ノ例ヲ申セト言ハレ、バ、私ハ纖維工業ノ例ヲ今申上ゲマシタガ、農村ノ例ハ庄司君ガ先キ申上ゲテ居リマシタガ、農村ニハ此頃ハ私ハ過剩勞力ハナイト思ヒマス、漸ク青年團トカ、或ハ老年團トカト云フモノノ犧牲の奉仕ニ依ッテ、耕作等ガ行ハレテ居ルノデアリマスカラ、此際ハ恐ラク全面的ニ過剩勞力ハアリマセヌノデスガ、サウ云フコトニ付テ政府ノ根本方針ハ何處マデ行クノデアアルカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○工藤政府委員 其問題ハ本議會ニ於キマシテモ問題ニナツタ點デアリマシテ、政府トシテハ、只今ノ御話ノ例ニアリマシタヤウナ場合ヲヨリ多ク考ノ中ニ入レテ、此法案ヲ作ッテ居リマス、ソコデ全國的ニ職業紹介機關ガ配置サレマス、其地方ニ於ケル産業ノ狀態、勞働力ノ過不及、或ル産業ハ盛ニナッテ、或ル産業ハ衰微シタ、衰微シタガ爲ニ其方面ノ勞働力ガ過剩ニナツタ、又廣ク軍需工業ノ上カラ見マシテモ、ヤハリサウ云フ問題ガ起ッテ來ルダラウト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、職業紹介所ハ事業紹介マデ入ルカドウカ分リマセヌガ、職業紹介ノ範圍ニ於テハ、其勞働者ノ過不及ヲ十分精査致シマシテ、而シテ全國ニ連絡アルコ

トデアアルカラ、甲ノ地ニ於テ餘ツタ職工——男工ニシテモ、女工ニシテモ、而シテ左様な女工ハ、例ヘバ長イ間纖維工業ニ從事シテ居ッタスレバ、他ノ纖維工業ニ於テ要求シテ居ル方面ニ向ケルコトガ出來ルデアリマセウシ、又サウ云フ方面ガナイト云フコトデアレバ、之ニ類似シタ仕事、婦人トシテヤリ得ルヤウナ、或ハ機屋デ必要デアレバ、ソレニ向ケルコトモ出來マセウシ、或ハ又ソレモ出來ナケレバ、女中奉公スル者モ出テ來ルカモ知レマセヌガ、ソコガ此法案ノ狙ヒ所デアリマス、出來得ルダケ全國的ニ凸凹ヲ均シテ、平均セシメテ、サウシテ此需給ヲ調節シタイト云フ所ニ目標ガアリマスカラ、此法案ノ實施ニ伴ウテ、此職業紹介機關ハ擴大強化サレマシテ、其使命ヲ果スコトニ相成ルノデアリマス

○齋藤委員 大體此法ノ根本精神ノ在ル所ハ諒解致シマシタ、次ニ御尋致シタイノハ、市町村長ガ職業紹介所ノ業務ノ一部ヲ行フ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、是ハ勅令ノ案ヲ拜見スルト分ルノデアリマセウガ、之ヲ一ツ此際伺ッテ置キタイト思ヒマス

○山崎政府委員 今回ノ法案ニ依リマスト、職業紹介所ガ國ノ機關ニナリマシテ、府縣知事ニ直屬スル形ニナルノデアリマス、隨

ヒマシテ全國ノ四百箇所ノ職業紹介所ノミヲ以テシマシテハ、求人者ノ不便其他ノ事情ガ多アルヤウニ思フノデアリマス、ソレデドウシテモ地元ノ市町村長ナリ、或ハ又法第四條ニ認メテ居リマス所ノ聯絡委員ト云フヤウナ機關ガ、併行シテ考ヘラレナケレバナラスノデアリマス、市町村長ノ取扱ヒマス業務ノ範圍ハ、大體求職ノ受付デアリマストカ、或ハ求人ノ周知、徹底方デアリマストカ、或ハ勞働事情ノ調査デアリマストカ、或ハ身元ノ調査、斯ウ云フコトヲ大體市町村長ニ御願致シタイト考ヘテ居リマス

○齋藤委員 サウ云フ調査ヲ市町村長ガ致シマシテ、其結果ヲ職業紹介所ニ報告スルト云フコトニナル、斯ウ云フコトデアラウト思フノデアリマスガ、職業紹介所ノ業務ト云フモノハ、一體中心ハ何處ニ在ルノデアリマスカ、市町村長ノ職務ト職業紹介所ノ職務ト云フモノヲ、一ツ此處デハッキリシテ置キタイノデアリマス

○山崎政府委員 職業紹介所ノ業務ノ中心ハ、申スマデモナク求人求職ヲ結付ケル點ニアルノデアリマス、其補助行為ト致シマシテ、只今申上ゲマシタヤウナ業務ノ一部分ハ、市町村長ニ掌ラシメルト云フヤウナコ

トニ考ヘテ居ル次第デアリマス
○齋藤委員 次ニ伺ヒタイノハ、經費ノコトデアリマスガ、國ガ三分ノ二ヲ負擔シテ、道府縣ガ三分ノ一ヲ負擔スル、斯ウ云フコトニナッテ居リマスカラ、經常費六百萬圓ニ付テハ、四百萬圓ハ國ガ負擔シ、二百萬圓ハ道府縣ガ負擔スルヤウニ思ヒマス、又大臣ノ御説明ニ依ルト、臨時費ハ國費ガ四分ノ三、地方費ガ四分ノ一ト云フコトニナッテ居リマスガ、此臨時費ト云フモノハ、一體ドウ云フモノデアルカ、又法ノ第七條第二項ニ依リマス「地方長官必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ規定ニ依リ道府縣ノ負擔スル費用ノ一部ヲ市町村ヲシテ負擔セシムルコトヲ得」トアリマス、是ハ多分其地方々々デ、ヤハリ地方的ノ職業紹介事務ガアルト云フコトヲ、豫想サレテ居ルノダラウト思フノデアリマスケレドモ、「地方長官必要アリト認ムル」ト云フノハ凡ソ如何ナル事ガ必要事項デアルカ、サウ云フコトヲ伺ッテ置キタイノデアリマス

○山崎政府委員 職業紹介所ノ費用ノ負擔ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ、大體ニ於キマシテ國ガ三分ノ二、道府縣ガ三分ノ一ト云フコトニ相成ルノデアリマス、稍、細カク申上ゲマスルト、職業紹介

所ノ經常的經費ニ付キマシテハ、國ガ二分ノ一、道府縣ガ二分ノ一、臨時的經費ニ付キマシテハ、道府縣ガ四分ノ一、國ガ四分ノ三ヲ持ツ立前ニ相成ルノデゴザイマス、大體平年度ニ於キマシテ、段々申上ゲマシタヤウニ、職業紹介所ノ經費ハ六百萬圓ヲ要スル豫定ニ相成ッテ居ルノデアリマスルガ、内三百萬圓ヲ大體經常費ト認ムルノデアリマス、残りノ三百萬圓ヲ臨時費ト考ヘテ居ルノデアリマスルガ、經常費ト申シマスルノハ、普通ノ一般ノ場合ニ於キマスル職業紹介所運營ニ要スル經費ト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ、三百萬圓ト申シマスノハ、現在國、地方ニ於キマシテ、現ニ負擔ヲ致シテ居リマスル金額ヲ大體ニ於テ考ヘマシテ、ソレニ相當ノ増加ヲ見テ、三百萬圓ヲ經常費ト見マシタノデアリマス、臨時費ト申シマスルノハ、殊ニ今日ノ時局ニ即應シマスノニハ、經常的ノ三百萬圓ヲ以テシマシテハ、到底職業紹介所ノ國營ノ運營ガ困難デアリマスルカラ、此時局ニ應ジマスル爲ニハ、取敢ズ臨時費ノ形ヲ以チマシテ、三百萬圓ノ負擔ヲ致スコトニ致シタノデアリマス、其臨時費ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ、道府縣ハ僅ニ四分ノ一ト云フコトニ相成ルノデアリマス、經常、

臨時合セマシテハ、大體ニ於キマシテ、國ガ三分ノ二、道府縣ガ三分ノ一ト云フ結論ニ相成ルノデゴザイマス、第七條ノ第二項ノ費用ノ一部ヲ市町村ニ負擔セシムル場合デアリマスガ、是ハ或ハ地元ノ市町村デアリマストカ、此職業紹介所ノ非常ニ效果ノ及ブ範圍ニ於キマシテ、適當ニ決定致シタイト存ジテ居リマス
○齋藤委員 是ハ市町村ト云ヒマシテモ、中々廣ク效果ガ及ブト思フノデアリマスガ、サウ云フノヲ厚薄ヲ付ケテ、市町村ニ依ッテ其負擔ヲ異ニスルヤウナ御考デスカ
○山崎政府委員 市町村ニ依リマシテハ、財政ノ點モゴザイマスルシ、大體只今ノ御尋ノ通りニ取扱ヒタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、市町村ニ負擔セシメマスル標準ニ付キマシテハ、都市ハ大體之ヲ加ヘタイト考ヘテ居リマス、町村ニ付キマシテハ、特別ノ事情ガアリト認メラレマスル範圍ニ限リマシテ、道府縣ガ其町村ニ負擔セシメマス場合ニハ、主務大臣ノ認可ヲ受ケシムルヤウナコトニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、非常ニ財政ノ貧弱ト云フヤウナ町村ニ付キマシテハ、特別ニ考慮ヲ致シタイト思ヒマス

○齋藤委員 臨時費ガ約三百萬圓、其負擔

ハ地方ガ四分ノ一、國ガ四分ノ三、是ハ無論今御話ノ通り、戰後對策ト云フモノカラ、臨時費ト云フモノノ必要ガアルト云フ御話ヲ私ハ承シタノデスケレドモ、是ハマア非常ナ大切ナ事デアリマスガ、戰時及ビ戰後ニ對スル、ドウ云フ對策ヲ持合セテ居ラレルカ、是ハ本會議デモ、或ハ只今モ御質問ガアッタヤウデアリマス、私モソレ等ヲ見テ御伺スルノデアリマスガ、尙ホ徹底ヲ缺イテ居ルヤウニ思フノデスカラ、此戰時及ビ戰後ノ對策ニ付テ、一ツ篤ト承テ見タイト思フノデアリマス

○山崎政府委員 今回ノ事變ノ歸還者モ、御承知ノ通りボツ／＼歸郷ヲ致シテ居ルヤウナ現狀ノ事態ニ鑑ミマシテ、勿論此法律ノ施行ハ、一日モ早ク之ヲ實行ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、先程モ濱野委員ニ御答申上ゲマシタヤウニ、大體本法ハ七月一日ヨリ之ヲ實施致シマシテ、順次準備ノ出來マシタ職業紹介所ニ付キマシテハ、之ヲ國營ニ引直シテ行ク考ニ致シテ居ルノデアリマス、都市ノ職業紹介所ハ、大體ニ於キマシテ十三年度中ニハ、全部國營ニ引直ス豫定ニ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ復員ノ場合ノ職業斡旋對策ノ最重要ナル事項ト致シマシテハ、此國立ノ職業紹介所ノ運營ヲ

圓滑ニスルコトニ依リマシテ、十分ノ效果ヲ擧ゲタイト考ヘテ居リマス、併ナガラ尙ホ職業紹介所ノ實現ガ出來マセズデモ、軍當局、地方ニ於キマシテハ、師團ナリ或ハ地方廳ト十分ノ連絡ヲ取りマシテ、除隊者ノ就職斡旋ニ付キマシテハ、萬遺漏ナキコトヲ期シテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、更ニ現行法ノ入營者職業保障法ノ運營ニ付キマシテモ、種々考究ヲ重ネマシテ、從來以上ニ此法律ガ徹底致シマシヤウニ、目下種々準備ヲ盡シテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス

○齋藤委員 豫算ハ大體三百萬圓ト御決メニナッテ居ルノデスカラ、何カモット具體的ニ御話ガ願ヘルコトダト思フノデスケレドモ、現在ノ狀態ヲ餘程改善ヲ致サウト云フコトニ目下研究ヲシテ居ル、斯ウ云フ御答辯デ餘リ抽象的ニ思フ、經常費三百萬圓、臨時費三百萬圓、約ソ金額ハ決ッテ居リマス、是デドンナ臨時的ナ仕事ヲ行ッテ行クト云フコトノ、凡ソノ見當ハ付イテ居ラレルデヤナイカト思フノデス、如何デアリマスカ

○山崎政府委員 經常費三百萬圓、臨時費三百萬圓、合セテ六百萬圓ト申シマスノハ、先程モ御答ヲ申上ゲマシタヤウニ、平年度ノ經費ノ狀態デゴザイマス、十三年度ハ初年

度デゴザイマシテ、大體都市ノ職業紹介所ヲ國營ニ引直ス豫定ニ相成ッテ居リマス、隨ヒマシテ、其經費ノ總額ハ何レ細カク數字ヲ御示ヲ申上ゲタイト存ジテ居リマシマスガ、大體三百五十萬圓程度ニナル豫定デアリマス、其機構ニ付キマシテハ、現在ノ職員等モ相當充實ヲ致シマシテ、此職業紹介所ガ十分ナル活動ガ出來マスヤウナ仕組ニ致シタイト存ジテ居ルノデアリマス、一々具體的ニ此人ヲ斯ウト云フヤウナコトハ、今申上ゲルコトハ非常ニ困難デゴザイマシマス、要スルニ職業紹介所ノ效果ヲ擧ゲルヤウ、十分ナ準備ヲ致シテ置キタイ、今ハ斯ウ云フ風ナコトヲ申上ゲル外ハナイト思ヒマス

○齋藤委員 サウ致シマスト、此六百萬圓ト云フモノハ平常の經費デアル、平常の經費ノ中デ、本年ハ臨時費ガ三百萬圓ヲ要スル、斯ウ云フ御話ノヤウニ分ッテ參リマシタ、然ルニ經常的ノ臨時費ト云フモノガ私ハアラウト思ヒマス、三百萬圓ハ如何ニモ多イヤウデアル、七百何十萬圓ノ紹介所ヲ四百箇所ニ減ズルノデアリマスカラ、サウ云フコトカラ考ヘマスト、其四百箇所ノ職業紹介所ニ於テハ、ウント職員ヲ増加スル、或ハ隨テ建築物其他ノ必要品ヲ増加ス

ルトカ何トカ、サウ云フコトデアラウト思フノデスガ、サウデスカ

○山崎政府委員 來年度ニ於キマシテモ、全部ガ臨時費ニナル譯デハナイノデゴザイマシテ、ヤハリ十三年度三百五十萬圓ノ範圍内ニ於キマシテ、大體其半分ガ經常費ニナル、残り半分ハ臨時費ト云フ立前ニナルト考ヘテ居リマス、現在ノ職業紹介所ハ、御承知ノ通りニ極メテ其内容ガ貧弱デゴザイマシテ、全國ヲ通ジマスト、職員ノ數ノ如キモ、現在市町村ノ所謂書記以上トシテ取扱ハレテ居リマスルモノハ、千二百人程度ニ相成ッテ居リマス、併ナガラ其職業紹介所ノ數コソ七百數十箇所ニナッテ居リマスケレドモ、其中町村ノ經營ニ屬シマスルモノノ如キハ、經常費年額百圓、或ハ二百圓ト云フヤウナ、殆ド有名無實ノ職業紹介所モ相當ニ多イノデアリマス、相當經費ヲ支出致シテ居リマスノハ、約三分ノ一ニ過ギナイヤウナ次第デゴザイマス、今回ノ國營ノ職業紹介所ハ、數コソ少ウゴザイマスケレドモ、何レモ相當内容ノ充實シマシタ紹介所ヲ置キマシヤウナ豫定ニ考ヘテ居リマス、其職員ノ數ノ如キモ、現在ノ書記以上ノ取扱ヲ受ケテ居リマス者ニ相當スル、所謂本官ニ相當シマス者ハ、大體二千數百人置クヤ

ウナ豫定ニ相成ッテ居リマス、是カラ見マシ
テモ、現在ノ職業紹介所ノ數倍充實シタ紹
介所ガ實現スルト云フヤウニ、御了承ヲ願ッ
テ置キタイト存ジマス、尙ホ都市ノ職業紹
介所ノ一箇所當リノ經費デアリマスルト
カ、或ハ町村ノ職業紹介所ノ一箇所當リノ
經費デアリマスとかハ、非常ニ細カクナリ
マスノデ、後デ書類ニシテ御目ニ掛ケタイ
ト存ジマス

○齋藤委員 サウ致シマス、全國職業紹
介所ノ數ハ減少シテモ、其職員ハ非常ニ増
加スル、約千人程増加スル、各紹介所ノ經
費ナドハ表ニシテ出ス、斯ウ云フ御話デゴ
ザイマスガ、サウ承知シテ宜シウゴザイマ
スカ

○山崎政府委員 大體サウ云フヤウニ御諒
解願ッテ置キマス

○齋藤委員 七百何十箇所ノ現在ノ紹介所
ノ中デ、御話ノ通り有名無實ノモノハ、吾
吾ノ見ル所ニ依ッテモアル、サウ云フモノ
ヲ大體整理ヲサレテ、茲ニ充實シタ本當ノ
働キノ出來ル四百箇所程ノ職業紹介所ヲ作
ラレルト云フコトハ、洵ニ吾々ハ結構ナコ
トト思ヒマス、ソコデ其四百箇所ノ職業紹
介所ヲ府縣知事ガ指揮監督ヲスルガ、其上
ハ何處デ指揮監督ヲスルノデアリマスカ

○山崎政府委員 職業紹介所ノ第一次ノ指
揮監督ハ、只今御話ノ通り府縣知事ガ之ニ
當ル立前ニナッテ居リマス、府縣知事ノ連絡
統制ノ機關ハ、申スマデモナク厚生大臣ガ
當ル譯デアリマス、厚生大臣ノ下ニ中央機
關ヲ相當ニ充實致シマシテ、各府縣ノ連絡
ニ統一ヲ缺クコトノナイヤウニ試ミテ參リ
タイト存ジマス

○齋藤委員 各府縣ノ連絡統制ヲ圖ル爲
ニ、中央ノ組織モ擴充ヲスルト云フ御話
ガアリマシタ、是ハ固ヨリサウナケレバ
ナラヌト思ヒマス、殊ニ戰後經營ヲ控ヘ
マシテ、非常ニ重大ナ時期デアリマスカ
ラ、全國ヲ統制シテ職業紹介所ノ働キラ
完全ニ致シマス爲ニハ、ドウシテモ中央ノ
組織ト云フモノヲ完備シナケレバイカヌヤ
ウニ思フノデアリマス、ソコデ厚生省ニ職
業課ト云フモノガアッテ御活動ニナッテ居ル
コトニ對シテハ、吾々平素敬意ヲ表シテ居
ル、今回モ斯ウ云フ法案ヲ御提出ニナックト
云フコトニ對シマシテモ、國民トシテ感謝
致ス次第デアリマス、併シ斯様ナ時勢ニナッ
テ參リマシテ、職業紹介ト云フモノヲ國ガ
行フト云フコトニナッテ居リ、ソコニ復員ノ
計畫ト云フモノモ目前ニ迫ッテ居ルノデア
リマスカラ、此際職業課ト云フモノデハ滿

足出來ヌノデヤナイカ、一ツ厚生省ニ職業
局ト云フモノヲ置イテ、モット全國ノ統制連
絡ガ完全ニ行クヤウニシタイト吾々ハ思フ
ノデアリマス、工藤政務次官ハドウ云フ考
ヲ持ッテ居ラレマスカ、是ハ特ニ政務次官ニ
御尋致シマス

○工藤政府委員 現下ノ時局ニ處スル對策
トシテハ、御話ノヤウナ職業機關ヲ厚生省
ニ新設スルト云フコトモ、一ツノ方法デア
ラウト思フノデアリマス、實ハ御承知ノ通
リ、內務省ニ隸屬シテ居タ時代ト違ヒマシ
テ、一ツノ省ヲ作ッテ大臣ヲ置イテ、サウシ
テ內閣ニ列シテ、輔弼ノ責任ヲ以テ此厚生
行政ヲヤラウト云フ機關ノ出來上ッタ以上
ハ、此機關ヲ完成スルト云フコトガ、私共
トシテハ今日ノ場合殊ニ必要デアルト考ヘ
テ居リマス、隨テ全國ニ散在シテ居ル種々
ナ機關ノ中ノ厚生行政ノ系統ヲ匡シテ行ッ
タナラバ、色々斯ウシタラ宜カラウ、ア、
シタラ宜カラウト云フコトモ、自然起ッテ
來ル譯デアッテ、齋藤委員ノ御話ノ此機關ヲ
設ケテ、今日ノヤウナ場合ニ活動スルト云
フコトハ、洵ニ有益ナ御獎メデアリマスカ
ラ、此點ハ十分考慮致シマシテ、機會ヲ失
ハナイヤウニ致シタイト思ッテ居リマス

○齋藤委員 政務次官ノ御答辯ヲ得テ満足

致シマス、ドウカ厚生省ノ組織ヲ十分擴充
致シマシテ、此機會ニ善處セラレンコトヲ
御願致シマス、次ニ御伺致シタイトハ、勞
務供給事業、是ハ人夫ノコトガラウト思フ
ノデアリマスガ、朝鮮ノ同胞ニ對シテ、昨
今ドウ御取扱ニナッテ居リマスカ、御承知ノ
通り朝鮮ハ、此頃時局ノ關係カラ盡忠報國
ノ誠意ヲ披瀝シテ居ルノデアリマス、斯ウ
云フコトヲ考ヘマス、勞務ノ供給ナドニ
付テモ、朝鮮同胞ヲ差別待遇ヲスルノハ大
體宜シクナイ、又此頃斯ウ云フ方面ノ需要
ガ相當多クナッテ參ッテ居ルノデアリマスカ
ラ、何等カ政府ハ從來ノ方針ト異ッテ御考ヲ
持ッテ居ラレルノカドウカ、ソレヲ一ツ御
伺致シタイ

○山崎政府委員 内地ニ既ニ參ッテ居リマ
スル朝鮮人ノ就職斡旋ニ付キマシテハ、是
ハ他ノ人々ト全然區別ヲ設ケナイデ、職業紹
介機關ヲ十分活用致シテ居ルノデアリマス、
又職業紹介機關ノミナラズ、失業者ノ救済
事業ノ如キモ、朝鮮ノ労働者ニ付キマシテ
ハ、全ク同一ノ取扱ヲ致シテ居リマスコト
ヲ、御諒承願ッテ置キタイト思ヒマス、唯新
ニ朝鮮カラ労働者ノ内地移住ヲシテ參リ
マスコトニ付キマシテハ、是ハ御承知ノ通
リ、唯單ニ内地側ノ労働需要バカリデナク

シテ、朝鮮ニ於キマスル労働需要ノ關係ヲモ、大イニ考慮ヲシナケレバナラスノデアリマシテ、内鮮一體トシテ、綜合的ノ見地カラ考慮シナケレバナラス問題ダト考ヘル

ノデアリマス、現状ニ於キマシテハ御承知ノ通りニ、朝鮮ニ於キマシテモ、北鮮地方ノ事業ノ勃興ニ依リマシテ、相當ニ勞力ノ不足ヲ告ゲテ居リマスヤウナ狀況ノヤウニ

同ッテ居ルノデアリマス、又内地ニ於キマシテハ、今次事變ノ爲ニ應召セラレタ人々ガ、特ニ段々ト歸ッテ參リマスヤウナ狀況モ、十分ニ考慮シナケレバナラナイト考ヘマス、

斯ウ云フ風ナ狀況デゴザイマスカラ、朝鮮人ノ内地移住ニ付キマシテハ、從來ノ方針ヲ今直ニ變ヘルト云フヤウナコトハ如何デアラウカト、斯ウ云フ風ニ只今ノ所考ヘテ居

リマスヤウナ次第デアリマス

○齋藤委員 是ハ朝鮮ノ人々ハ内地ノ農村ニ來テ、農村デ耕作ニ従事スルト云フヤウナコトハ適當デハナイ、併シ大量ノ勞力ヲ必要トスル所ニ於キマシテハ、朝鮮ノ人々ハ最も適當ナノデハナイカ、サウ云フコトハドウ御考デアリマスカ、内地デハ中々此

ヲ、緩和シテモ宜イノデヤナイカト思ハレルヤウナ方面モアル、サウ云フ方面ニ付テ一寸伺ヒタイノデアリマス

○工藤政府委員 産業ノ擴充政策ヲ執ルニ從ッテ、様々ノ方面ニ影響ガアリマスガ、御話ノヤウナ勞働力ノ不足ナ所、例ヘバ九州ノ炭坑アタリハ、ヤハリ其途ヲ相當開イテ

居リマス、是ハ現在ノ所デハ、内地間ニ於ケル相互ノ關係ニ於テヤッテ居ルノデアリマスガ、更ニ今後進ンデドレダケノ朝鮮人

ヲ、日本ノ内地ヘ労働者トシテ入レルカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ種々ナル方面ニ影響アルコトヲ考ヘナケレバナリマセヌノデ、確トシタ先ノ見込モ著カスノニ、

單ニ之ヲ不足ヲシイカラ入レルト云フ譯ニハ行キマセヌカラ、實際今日ノ時局ガ進展致シマシテ、更ニ必要ヲ感ジタ場合ニ於キマシテハ、關係官廳ト互ニ相談シ合ッテ、善處シナケレバナラナイト思フノデス、要スルニ需要ニ伴フ供給ノ途ヲ開カナケレバナ

○齋藤委員 次ニ御尋致シタイノハ職業紹介所ノ職員ハ、手腕力量アル者ヲ集メルト

云フコトニ、大臣ナリ政務次官ガ御話ニナッテ居リマスカラ、大體ハサウ心得テ居リマスガ、是ハドウ云フ方法デ——全部特別任用、即チ自由任用ヲサレル積リデアリマス

カ、或ハ職業紹介所長ト云ツタヤウナ——高等官カ判任官カ分リマセヌケレドモ——

サウ云フヤウナ人ハ、ヤハリソレ——任用サレルニ付テ、資格ヲ必要トスルノデアリマスガ、是ハ將來ノコトデスガ、現在ノ職員ハ成ベク其儘ニシテ置クト云フコトデア

リマスカラ、是ハ無論サウシテ戴カナケレバナラヌト思フ、ソレニシテモ七百ノモノガ四百ニナルノデアリマスカラ、ソコニ若干ノ失業者ガ現レルノデハナイカト思フノデアリマス、ソレ等ノ數ハ幾人ニナルノデアリマスガ、或ハ又サウ云フ方面ノ人ヲ、擴張サレル方面ニデモ向ケルノデアリマスカ、ソレ等ノ點ヲ一ツ御同致シマス

○山崎政府委員 職員ノ任用ニ付キマシテハ、大臣カラモ本會議デ申上ゲマシタヤウ

ニ、出來ルダケ廣ク自由ニ任用ノ途ヲ開キマシテ、適材ヲ採用致シタイト考ヘテ居リマス、職員ノ身分ニ付キマシテハ、只今ノ所特別ノ官制ヲ設ケマシテ、待遇職員ノ立

前ニ致シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ現在ノ千數百名ノ職員ノ將來ノコトデゴザイマスガ、是亦大臣カラ本會議デ申上ゲマシタヤウニ、出來ルダケ今回ノ新ナ機構ニ之ヲ採用致シタイト考ヘテ居リマス、萬一本

ノ事情ニ依リマシテ、ドウシテモ他ノ地方ニ轉職ガ出來ナイト云フヤウナ者ニ付キマシテハ、其地元ニ於キマシテ、適當ナ他ノ職業紹介所以外ノ事務ニ従事セシメマスカ

ウニ、是亦市町村或ハ府縣ト十分ノ連絡ヲ取リマシテ、失業者ノ出マセヌヤウニ十分ノ配意ヲ拂ヒタイト考ヘテ居リマス

○齋藤委員 次ニ御尋ヲ致シタイノハ、道府縣ノ委員會デアリマス、道府縣ノ委員會

ノ組織ハ、是モ勅令ヲ拜見スレバ分ルノデアリマスガ、是ハドンナ組織ニナッテ、ドン

ナ活用ヲスルモノデアリマスガ、第六條ノ職業紹介委員會ニ付テ一ツ伺ヒタイト思ヒ

マス

○山崎政府委員 職業紹介所委員會ニ付キマシテハ、中央ト道府縣トソレ——之ヲ設置スル豫定デゴザイマス、中央ノ職業紹介委員會ニ付キマシテハ、現行法ニ依リマシ

テハ、現在ノ職業紹介委員會ト云フ設ケハ
ナイノデゴザイマスケレドモ、今回ノヤウ
ナ提案ヲ具現致シテ参リマスノニハ、ドウ
シテモ民間有識者ノ知識、經驗ヲ拜借ラシ
ナケレバ、十分ノ效果ヲ擧ゲルコトガ出來

ナイト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ道
府縣ニ於キマスル職業紹介委員會ノ構成ハ、

市町村長ノ代表者ノ方デアリマストカ、或
ハ資本家、勞働者側ノ代表者ノ方デアリマ

ストカ、或ハ關係官吏ノ方デアリマストカ、
其他十分此事業ニ經驗ヲ持チ、又豊富ナ知

識ヲ持ッテ居ラレル方々ヲ以テ、大體構成ヲ
致シタイト考ヘテ居リマス、其委員會ノ職

務ノ内容ニ付キマシテハ、其地方ニ於キマ
スル職業紹介所ノ實際ノ運營ニ關シマスル

各般ノ問題ヲ考究ヲ願ヒ、其地方ニ於キマ
スル國營ノ職業紹介所ガ圓滑ニ参リマスヤ

ウナ種々ノ點ニ付キマシテ、府縣知事ノ諮
問ニ答ヘ、又自ラ意見ヲ述ベラレマシテ、

十分ノ效果ヲ擧ゲマスヤウニ御願ヲ致シタ
イト考ヘテ居リマス

○齋藤委員 大體了承ヲ致シマシタ、何レ

又勅令ノ要項ガ御配付ニナルサウデアリマ
スカラ、ソレヲ拜見致シマシテ又御尋ヲ致

シタイト思ヒマス、此際一寸御願シテ置キ
タイノハ、第八條ノ第二項、前項ノ勞務供

給事業云々ノ、必要ナル事項ハ命令ヲ以テ

之ヲ定ムトアリマスガ、此必要ナル事項
ヲ——小サナコトデアリマスケレドモ、是モ

參考資料トシテ戴イテ置キタイ、一應私ハ
是デ打切リマス

○服部委員長 本日ハ此程度デ散會致シマ
ス、明日ハ午前十時ニ開會致シマス

午後四時四十二分散會